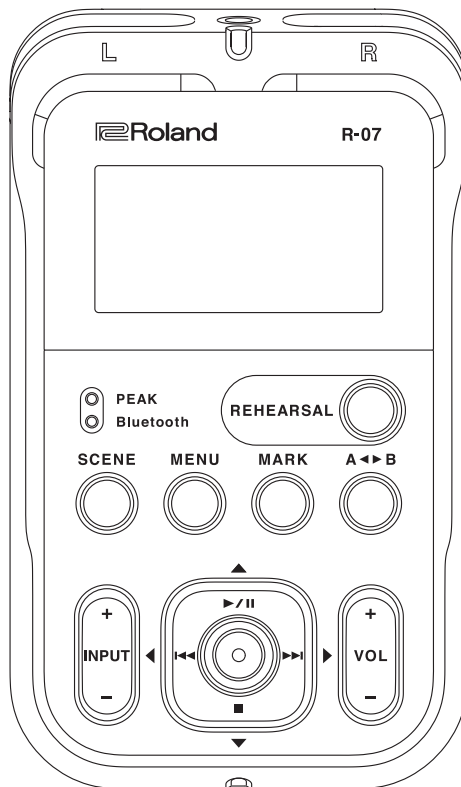




R-07

High Resolution Audio Recorder

リファレンス・ガイド

目次

各部の名称とはたらき	3
基本画面	5
準備する	6
電池を入れる	6
USB 端子から電源供給する	6
電源を入れる／切る	6
電池の種類を設定する	7
日付と時刻を設定する	7
microSD カードを準備する	8
microSD カードをセットする	8
microSD カードをフォーマットする	9
ヘッドホンやスピーカーを使う	10
外部スピーカーと接続する	10
Bluetooth® ヘッドホンやスピーカーと接続する	10
録音する	12
録音の基本操作	12
目的に合わせた設定を読み出す	13
変更したシーンを保存する	13
変更したシーンを初期化する	13
録音の音質を設定する	14
サンプルレート	14
録音モード	14
サンプルレートと録音モードを設定する	14
録音時間の目安	15
リミッターまたは AGC を使う	16
低音域をカットする	16
入力レベルを調節する	17
手動で入力レベルを設定する	17
リハーサル機能を使う	18
プリレコーディング機能を使う	18
自動録音開始機能を使う	18
楽器や声を録音する	19
内蔵マイクを使う	19
外部マイクを使う	19
カセットや CD の音を録音する	20
録音中にマークを付ける	21
手動でマーキングする	21
録音中にファイルを分割する	21
手動で分割する	21
自動で分割する	21
再生する	22
再生の基本操作	22
再生モードと繰り返し再生の設定	22
ファイルにマークを付ける	23
ファイルの一部分を繰り返し再生する	23
再生する速度を変える	24
INPUT [+][-] ボタンで再生速度を変える	24
再生時にリバーブ効果をかける	24
リバーブ効果をかける	24
リバーブの深さを変える	25
再生可能なファイルの種類	25

モバイル機器から操作する	26
アプリ「R-07 Remote」をインストールする	26
R-07 を設定する	26
モバイル機器を設定する	26
R-07 Remote を起動する	26
メトロノームを使う	28
メトロノームを単体で使用する	28
録音時にメトロノームを鳴らす	28
チューナーを使う	29
チューナー、グラフィック・チューナーの基本操作	29
チューナー	29
グラフィック・チューナー	30
パソコンと接続する	31
パソコンとファイルのやりとりをする（マス・ストレージ）	31
R-07 とパソコンを接続する	31
パソコンとの接続を解除する	31
ファイルやフォルダを扱う	32
基本操作	32
ファイルまたはフォルダを開く	33
情報を見る	33
ファイルまたはフォルダを削除する	34
ファイル名またはフォルダ名を変更する	34
ファイルを移動する	34
ファイルをコピーする	34
ファイルを分割する	35
ファイルを結合する	35
ファイルの不要な部分を消す（トリム）	36
MP3 ファイルを作成する	36
ファイルを修復する	37
フォルダを作成する	37
R-07 本体の各種設定	38
基本操作	38
エラー・メッセージ一覧	41
困ったときには	42
録音に関するトラブル	42
再生に関するトラブル	42
Bluetooth 機能に関するトラブル	43
その他のトラブル	43
主な仕様	45

各部の名称とはたらき

内蔵マイク

本体内蔵のステレオ・マイクです。

ディスプレイ

R-07 のさまざまな情報を表示します。

PEAK インジケーター

入力の音量が大きすぎる場合に点灯します。

Bluetooth インジケーター

Bluetooth スピーカーやヘッドホンを登録する (P.10) ときに点滅します。Bluetooth スピーカーやヘッドホンが接続されているときや、リモコンをオンにした (P.26) ときに点灯します。

[SCENE] ボタン

シーン設定 (P.13) に切り替え、録音に合わせた設定を読み出すことができます。長押しすると、ディスプレイの上下が反転します。

[MENU] ボタン

録音や再生に関する設定や日時の設定など R-07 の各種設定をします。

リモート・インジケーター

動作	状態
点灯	録音中
点滅 (ゆっくり)	録音待機状態
点滅 (はやい)	過大入力

[REHEARSAL] ボタン

自動的に、適切な入力レベルを設定します (P.18)。

[A ◀▶ B] ボタン

ファイルの途中の 2 点間 (A-B の区間) を繰り返し再生させる (P.23) ことができます。ファイル内に A マークと B マークを付けると、A マークと B マークの間をリピート再生します。1 回押すと A マークがつき、もう 1 回押すと B マークがつきます。

[MARK] ボタン

WAV ファイルのとき、押すと任意の位置にマークを付ける (P.23) ことができます。マークの付いた位置で押すと、マークが消えます。

[▶/II] ボタン

再生を開始させたり、再生や録音を一時停止させたりします。また、ディスプレイ上のカーソル位置を上方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

[◀◀] ボタン

ファイルの頭出しをしたり前のファイルを選んだりします。マークが付いた WAV ファイルでは、前のマークに戻ります。押し続けると、その間ファイルを早戻します。再生中/停止状態のどちらの状態でも操作できます。また、ディスプレイ上のカーソル位置を左方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

INPUT [+][-] ボタン

内蔵マイク、MIC/AUX IN 端子から入力される音声の大きさを調節します。[+] ボタンを押すと、入力される音量が大きくなります。[-] ボタンを押すと、入力される音量が小さくなります。再生中に押すと、再生速度を変えることができます (P.24)。

[■] ボタン

再生や録音を停止します。また、ディスプレイ上のカーソル位置を下方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

[▶▶] ボタン

次のファイルを選択します。マークが付いた WAV ファイルでは、次のマークに進みます。押し続けると、その間ファイルを早送りします。再生中、停止状態のどちらの状態でも操作できます。また、ディスプレイ上のカーソル位置を右方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

VOL [+][-] ボタン

内蔵スピーカー、PHONES 端子や Bluetooth 機器から出力される音量を調節します。

[●] ボタン

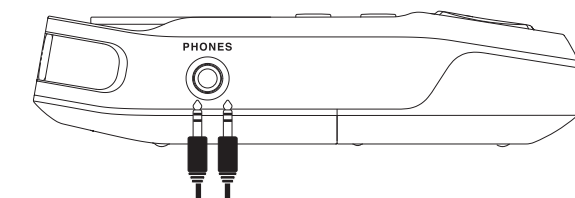
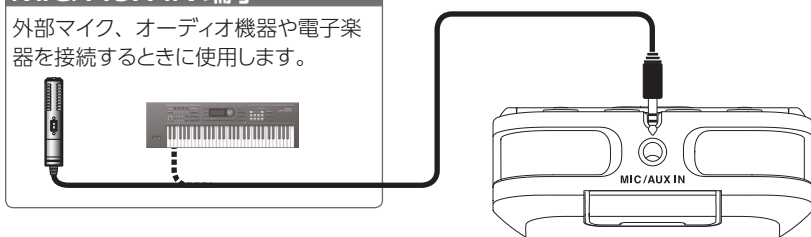
録音待機、録音開始します。また、選択項目を確定します。

REC / PLAY インジケーター

動作	状態
赤点灯	録音中
赤点滅	録音待機状態
緑点灯	再生中
緑点滅	再生一時停止状態

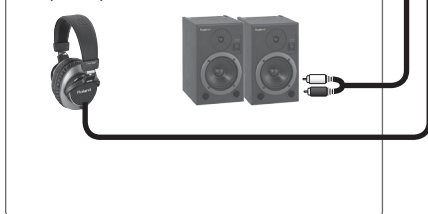
MIC/AUX IN 端子

外部マイク、オーディオ機器や電子楽器を接続するときに使用します。



PHONES 端子

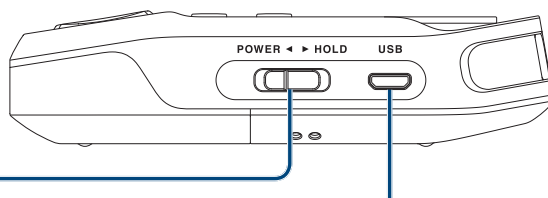
ヘッドホンや外部スピーカーを接続します (P.10)。



[POWER] スイッチ

スイッチを POWER 側にスライドさせて、電源のオン/オフを切り替えます (P.6)。電源をオンにした状態でスイッチを右側に固定すると、HOLD がオンになります。

HOLD をオンにしておくと、すべてのボタンの操作が無効になり、誤操作の防止に役立ちます。HOLD をオンにしても、モバイル機器からは操作できます (P.26)。



USB 端子

市販の USB ケーブルでパソコンと接続します。R-07 で録音したファイルをパソコンに移動したり、パソコンから R-07 に WAV や MP3 をコピーして再生させたりすることができます。

* 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

microSD カード・スロット

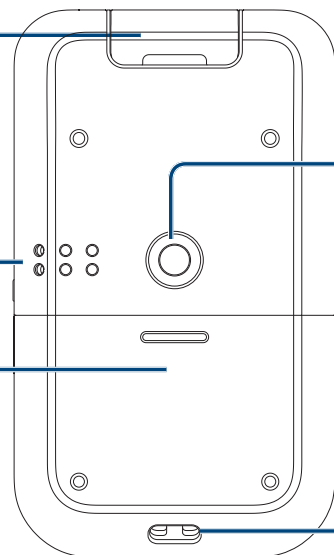
microSD カードを差し込むスロットです。工場出荷時には microSD カードがセットされています。

内蔵スピーカー

本体内蔵のスピーカーです。

電池ケース

電池を入れます (P.6)。



三脚取り付け用ネジ穴

市販のカメラ用三脚が取り付けできるネジ穴です。
(ネジ穴のサイズは 1/4 インチです。)

ストラップ取り付け穴

市販のストラップを取り付けることができます。

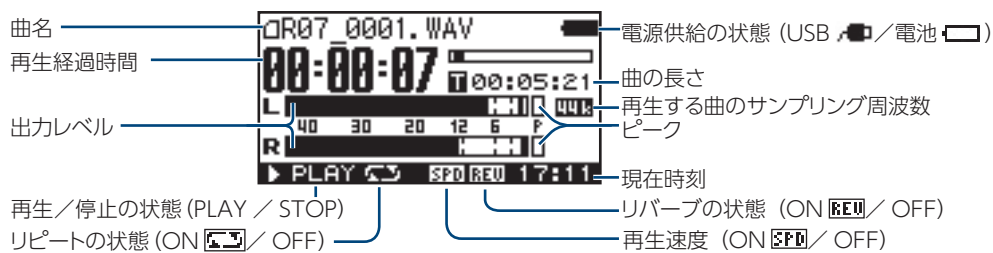
microSD カードについて

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

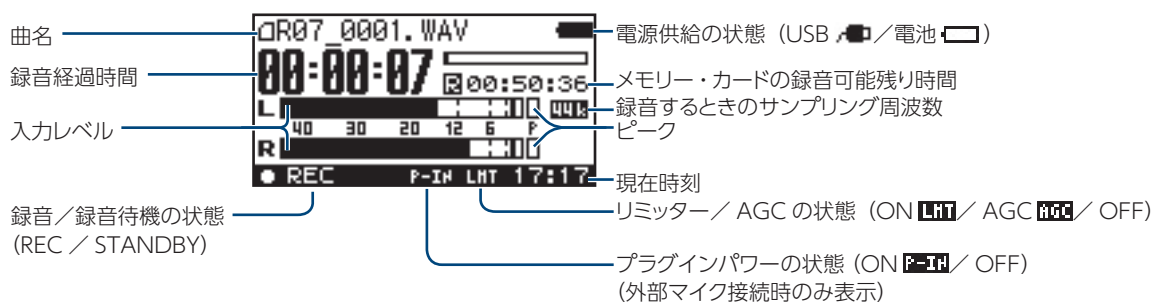
基本画面

基本画面に表示される主なアイコンや情報について説明します。

再生／停止



録音



準備する

電池を入れる

使用できる電池の種類

- アルカリ電池（単 3 形）
- 充電式ニッケル水素電池（単 3 形）

ご注意！

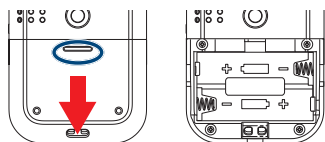
R-07 本体で充電式ニッケル水素電池を充電することはできません。お使いの充電式ニッケル水素電池専用の充電器を用意してください。

1. 電源がオフになっていることを確認します。

電源がオンになっている場合は、オフにします。R-07 の [POWER] スイッチを POWER 側にスライドさせると、電源のオン/オフを切り替えられます。

2. 本体背面にある電池ケースの蓋を開けます。

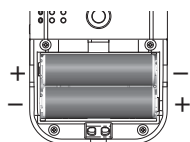
R-07 を裏返し、電池ケースの丸で囲った位置を押さえながら蓋を下方向にスライドさせます。



※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

3. 電池をセットします。

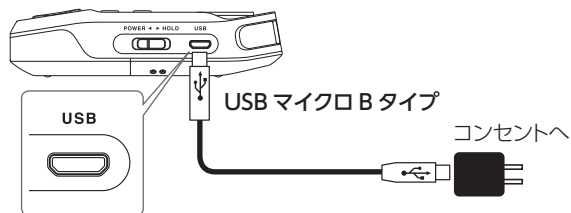
+/- 極を間違えないようにして、電池（単 3 形）2 本を電池ケースに入れます。



4. 電池ケースの蓋を閉めます。

USB 端子から電源供給する

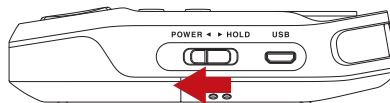
1. 市販の USB AC アダプター、市販の USB ケーブルと R-07 をつなぎます。



電池を入れているときは、電池は消耗せず USB 端子からの電気を使用します。

電源を入れる／切る

1. [POWER] スイッチを POWER 側に数秒間スライドさせて、電源をオンにします。

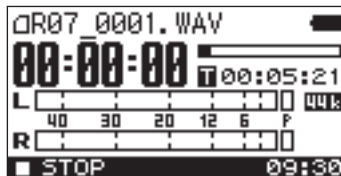


2. USB モード選択画面が表示されたときは、

▶/||| / ■ で「電源アダプター」を選び、[●]を押します。



ディスプレイに下のような画面が表示されます。これを「基本画面」といいます。



3. 電源をオフにするときは、再度 [POWER] スイッチを POWER 側に数秒間スライドさせます。

R-07 を電池でお使いになるときの注意

- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（「安全上のご注意」チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 新しい電池と一度使用した電池や違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止などのためにも本体から電池を抜いておくことをおすすめします。
- 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また目に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

省電力機能

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。詳しくは「オートオフ」(P.40) をご覧ください。

- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

電池残量表示

- 電池容量が少なくなると、ディスプレイの右上に電池残量不足のアイコン  が表示されます。早めに新しい電池と交換してください。

電池容量が少ないまま使い続けると、「バッテリーが低下しています」と表示され、最終的に R-07 のすべての機能が停止します。

電池寿命（アルカリ電池使用時）

連続再生時	約 15 時間
連続録音時	約 15 時間

※ 上記の電池寿命は目安です。使用環境や使いかたによって電池寿命は変わります。

電池の種類を設定する

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「電源」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] で電池の種類の行にカーソルを合わせ、
[◀◀] / [▶▶] で使用している電池を選びます。

電源	
オートオフ:	30分
電池の種類:	アルカリ

(初期値: 太字)

電池の種類	アルカリ
	ニッケル水素

3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときは、次の手順で内蔵時計を設定してください。ここで設定した日時は、録音したファイルの情報 (タイム・スタンプ) として利用されます。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「時計」を選んで、[●] を押します。

ご注意!

- 内蔵時計は電池から電力を供給されて動作します。電池が抜かれた状態が数分続くと内蔵時計の設定は元に戻ってしまいます (初期状態)。この初期状態で電源をオンにすると「日付／時刻を設定してください」のメッセージが表示されます。
- 「日付／時刻を設定してください」が表示されたら、再度日付と時刻を設定してください。

2. 日付と時刻を設定します。

[◀◀] / [▶▶] で、カーソルを左右に動かします。

時計
2017-02-03(金)
(YYYY-MM-DD)
14:59:00
[REC]で確定します

カーソルが変更したい文字の位置にきたら、[▶/II] / [■] で日付と時刻を変更し、[●] を押して確定します。

3. [MENU] を押して、基本画面に戻ります。

microSD カードを準備する

付属の microSD カード以外をお使いになる場合は、ローランド・ホームページ (<http://roland.cm/r-07sd>) をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。

microSD カードをセットする

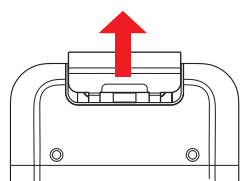
差し込む

1. 電源がオフになっていることを確認します。

もし電源がオンになっている場合はオフにします。

2. 本体上部にある microSD カバーを開きます。

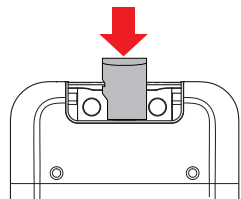
microSD カバーのくぼみに爪などをひっかけて上に引っ張ります。



無理に引っ張ると破損する恐れがありますのでご注意ください。

3. microSD カードをセットします。

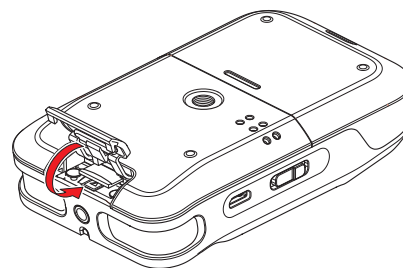
microSD カードを図と同じ向きで挿入してください。



ご注意！

- microSD カードの向きが逆の状態では無理に挿入すると、R-07 本体や microSD カードを破損する恐れがあります。ご注意ください。
- microSD カードは、確実に奥まで挿し込んでください。
- microSD カードは小さいですので、飛び出て紛失されないようご注意ください。

4. microSD カバーを閉じます。



5. [POWER] スイッチを POWER 側に数秒間にスライドさせて、電源をオンにします。

メモ

フォーマットされていない microSD カードが R-07 にセットされていると、「フォーマットされていません」と表示されます。

microSD カードを取り出す

1. R-07 本体の電源をオフにします。

2. microSD カバーを開きます。

3. microSD カードを軽く奥に押し、指を離します。

microSD カードが手前に出てきたら取り出します。

ご注意！

本体の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが失われる可能性があります。

microSD カードについて

付属の microSD カード以外をお使いになる場合は、ローランド・ホームページ (<http://roland.cm/r-07sd>) をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。

ご注意！

- R-07 は microSD / microSDHC カードに対応しています。
- microSD カードのメーカーや種類によっては、R-07 で正しく録音や再生ができないものがあります。
- 本体の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが失われる可能性があります。
- microSD カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

microSD カードをフォーマットする

フォーマットとは、定められた情報の記憶形式に従って、microSD カードを初期化することをいいます。付属の microSD カード以外をお使いになる場合は、最初に microSD カードのフォーマットが必要です。

ご注意！

- microSD カードのフォーマットは、必ず R-07 本体で実行してください。R-07 以外の機器でフォーマットした microSD カードは R-07 では正しく動作しないことがあります。
- microSD カードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. microSD カード・スロットに、フォーマットしたい microSD カードが差し込まれていることを確認します。

詳しくは「microSD カードをセットする」(P.8) をご覧ください。

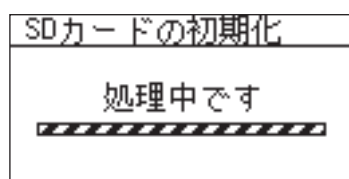
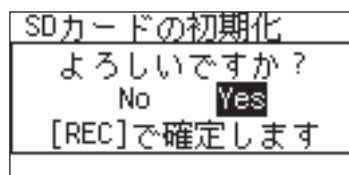
2. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、 ▶/II / ■ で「SD カード」を選び、● を押します。

メモ

途中で操作を中止したい場合には、[MENU] を押してください。ひとつ前の画面に戻ります。

3. ▶/II / ■ で「フォーマット」を選び、● を押します。

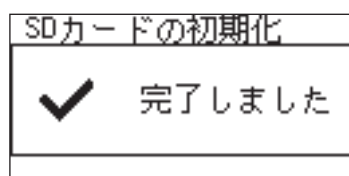
4. 確認の画面が表示されたら ▶▶I で「Yes」を選び、● を押します。



ご注意！

「処理中です」と表示されている間は microSD カードを絶対に取り出さないでください。microSD カード内の記憶エリアが破損することがあります。

「完了しました」と表示されたらフォーマット完了です。



5. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ヘッドホンやスピーカーを使う

R-07にはスピーカーが内蔵されています。そのままでも再生音を聞くことができますが、ヘッドホンや外部スピーカーを接続して聞くこともできます。また、Bluetooth ヘッドホンや Bluetooth スピーカーと R-07 を接続して、無線で再生音を聞くこともできます。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞って、すべての機器の電源を切ってください。

外部スピーカーと接続する

※ 必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたり外部スピーカーなどが破損したりする恐れがあります。

1. R-07 の電源を切ります。
2. 外部スピーカーのボリュームを最小にして、電源を切ります。
3. 外部スピーカーを接続します。
アンプを内蔵しているスピーカーのみ接続できます。
R-07 の PHONES 端子と外部スピーカーのライン入力端子をオーディオ・ケーブルで接続します。
4. R-07 の電源をオンにします。
5. 外部スピーカーの電源を入れ、ボリュームを少しずつ大きくして音量を調節します。

Bluetooth® ヘッドホンやスピーカーと接続する

対応コーデック：SBC、Qualcomm®aptX™ audio、Qualcomm®aptX™ Low Latency audio

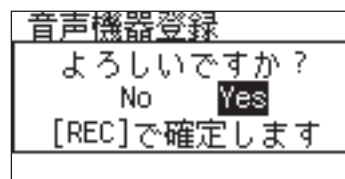
Bluetooth 機器を登録する（ペアリング）

「ペアリング」とは、使いたい Bluetooth 機器を本機に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。

ペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。R-07 起動後は前回接続していた機器を探し、自動で接続します。

1. 接続したい Bluetooth 機器を本機周辺に置き、電源を入れてペアリング・モードにします。
詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。
2. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「Bluetooth」を選んで、[●] を押します。
3. ▶/II / ■ で「音声機器登録」を選び、[●] を押します。

4. [◀◀] / [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。



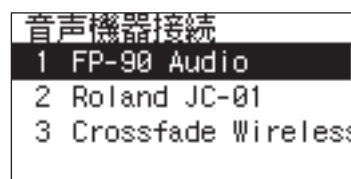
「ペアリング中...」と表示され、本機は Bluetooth 機器からの応答を待ちます。■ を押すと、操作を中止できます。
ペアリングが成功すると「完了しました」と表示されて、Bluetooth 機器から音を出力できます。

ペアリング済みの Bluetooth 機器を接続する

メモ

設定の初期化（P.40）を実行すると、登録した情報は消去されます。あらためてペアリングしてください。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「Bluetooth」を選び、[●] を押します。
2. ▶/II / ■ で「音声機器接続」を選んで、[●] を押します。
3. 再生する機器を選び、[●] を押します。



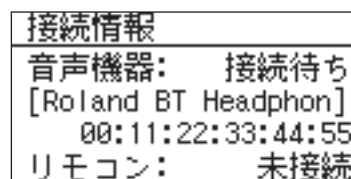
4. [◀◀] / [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。

「接続中...」と表示され、本機は Bluetooth 機器と接続を開始します。■ を押すと、操作を中止できます。

接続が成功すると「完了しました」と表示されて、Bluetooth 機器から音を出力できます。

どの Bluetooth 機器と接続しているか確認する

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「Bluetooth」を選び、[●] を押します。
2. ▶/II / ■ で「接続情報」を選んで、[●] を押します。

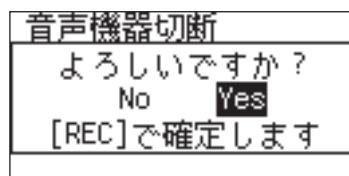


3. [MENU] を3回押して基本画面に戻ります。

Bluetooth 機器の接続を切る

別の Bluetooth 機器に切り替えたいときに使います。

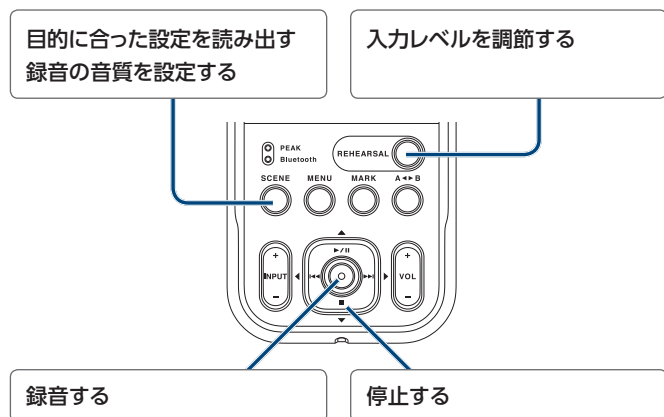
1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「Bluetooth」を選び、[●] を
押します。
2. [▶/II] / [■] で「音声機器切断」を選んで、[●]
を押します。
3. [◀◀] / [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。



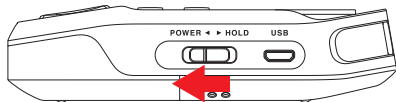
接続が切れると「完了しました」と表示されます。

録音する

録音の基本操作



1. R-07 の電源をオンにします (P.6)。



2. 目的に合った設定を読み出します (P.13)。

3. 録音の音質を設定します (P.14)。

4. 入力レベルを調整します (P.17)。

5. 録音を始めます。

REC / PLAY インジケーターが消灯しているとき、[●] を押すと、赤く点滅し録音待機状態になります。

録音待機状態で [●] または [▶/II] を押すと、REC / PLAY インジケーターは赤く点灯し録音が始まります。

メモ

録音を始めてから [POWER] スイッチを HOLD 側に固定しておくと、ボタンが誤って押されても録音が止まったり入力レベルが変わったりしません。

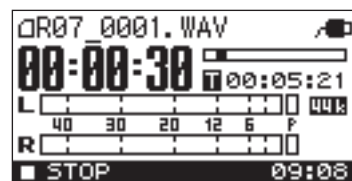
ご注意！

- MIC/AUX IN 端子にマイクや機器を接続している場合は、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用する場合には、MIC/AUX IN 端子に何も接続しないでください。
- 録音待機状態や録音中に INPUT [+] [-] を操作すると、入力レベルが変わってしまいます。INPUT [+] [-] を誤って操作しないよう気をつけてください。
- 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

6. [■] を押して、録音を停止します。

REC / PLAY インジケーターが消灯します。

ディスプレイには、録音したファイルが表示されます (P.5)。



メモ

- 一時停止する場合は、[▶/II] を押します。一時停止を解除して録音を再開するときは、再度 [▶/II] を押してください。
- ファイル名は、R07_0001.WAV のように自動的に作成されます。0001 の部分は存在するファイル名の中で、最も大きい番号に 1 加えた番号がつけられます。
- 録音設定でファイル名が「日付」に設定されているときは、録音した日時がファイル名になります。詳しくは、「ファイル名」(P.39) をご覧ください。

7. [▶/II] を押して、録音したファイルを再生します。

詳しくは、「再生の基本操作」(P.22) をご覧ください。

目的に合わせた設定を読み出す

R-07には、録音目的に合わせた設定が用意されています。この設定を「シーン」と呼びます。

1. [SCENE] を押して「シーン」画面を表示させ、[◀◀] / [▶▶] でシーンを変更します。

シーン	説明	サンプルレート	録音モード	リミッター	ローカット	入力レベル
OFF	手動で設定するときを選びます。					
音楽 HiRes	大音量でないバンド演奏や、アコースティック楽器の演奏に適した高音質の設定です。	96kHz	WAV-24bit	ON	OFF	60
音楽 CD	CD 品質の設定です。	44.1kHz	WAV-16bit	ON	OFF	60
音楽長時間	長時間録音用の設定です。	44.1kHz	MP3-192kbps	ON	OFF	60
大音量ライブ	ライブハウスなどでの大音量の演奏に適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	OFF	OFF	25
大音量練習	練習スタジオなどでの大音量の演奏に適した長時間録音用の設定です。	44.1kHz	MP3-192kbps	OFF	OFF	25
楽器	楽器を近くで録音するのに適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	ON	OFF	60
ボーカル	ボーカルを近くで録音するのに適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	ON	100Hz	60
会議	会議、講義、スピーチなど、音楽用途以外の録音に適した設定です。	44.1kHz	MP3-128kbps	AGC	200Hz	自動
野外	野鳥の鳴き声や川のせせらぎなど、自然の音を録音するのに適した設定です。	96kHz	WAV-24bit	ON	100Hz	80

シーンを選んだあとでも、サンプルレート (P.14)、録音モード (P.14)、リミッター (P.16)、ローカット (P.16) と入力レベル (P.17) の値は変更できます。

変更したシーンを保存する

変更したシーンを保存することができます。
「OFF」以外のシーンを保存できます。

1. [SCENE] を押して、「シーン」画面を表示させます。
2. [▶/II] / [■] でシーンの保存の行にカーソルを合わせ、[●] を押します。

リミッター:	OFF
ローカット:	OFF
入力レベル:	40
シーンの保存	
シーンの初期化	

3. 確認の画面が表示されたら [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。

変更したシーンを初期化する

シーンの設定を変更したあと、元の設定に戻すことができます。
「OFF」以外のシーンを元に戻すことができます。

1. [SCENE] を押して、「シーン」画面を表示させます。
2. [▶/II] / [■] でシーンの初期化の行にカーソルを合わせ、[●] を押します。

リミッター:	OFF
ローカット:	OFF
入力レベル:	40
シーンの保存	
シーンの初期化	

3. 確認の画面が表示されたら [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。

録音の音質を設定する

録音する音質を設定することができます。

音質設定はサンプルレート（サンプリング周波数）と録音モードの組み合わせで設定します。音質によってファイルのサイズが異なり、microSD カードに録音できる時間も異なります。音質を優先するか録音時間を優先するかなど、目的に合った設定をしてください。

サンプルレート

（初期値：太字）

サンプルレート	44.1kHz
	48.0kHz
	88.2kHz
	96.0kHz

サンプルレートの値が大きいくほど高音質になります。高音を正確に再現したい場合は、高いサンプルレートが必要です。

メモ

- サンプルレートの値が大きくなるとファイルのサイズが大きくなり、録音可能な時間が短くなります。
- ビデオ作品の編集で、オーディオ・トラックに録音したものを取り込む場合には 48.0kHz に設定することをおすすめします。
- 録音したファイルのサンプルレートを R-07 で変換することはできません。

ご注意！

サンプルレートが 88.2kHz、96.0kHz のとき、録音モードは WAV-16bit と WAV-24bit 以外は選べません。

録音モード

（初期値：太字）

録音モード	2xWAV-16bit
	2xWAV-24bit
	WAV+MP3
	MP3-64kbps
	MP3-96kbps
	MP3-128kbps
	MP3-160kbps
	MP3-192kbps
	MP3-224kbps
	MP3-320kbps
	WAV-16bit
	WAV-24bit

WAV のファイルは MP3 のファイルよりも高音質で録音することができます。

MP3 の設定で録音すると、WAV の設定で録音したときよりもファイルのサイズが小さくなり、長時間の録音が可能になります。また、bit と kbps の値が大きくなるとファイルのサイズが大きくなり、録音可能な時間が短くなります。

WAV+MP3 は WAV ファイルと MP3 ファイルを同時に作成します。

メモ

- Windows Media Player など、ソフトウェアによっては 24bit の WAV は再生できません。

ご注意！

- 2xWAV-16bit、2xWAV-24bit、MP3 と WAV+MP3 はサンプルレートが 44.1kHz と 48.0kHz のときしか選べません。
- WAV+MP3 は WAV-16bit、MP3-128kbps 固定になります。

音楽用に使われるフォーマットの例

用途	録音モード	容量の目安
業務用（プロ品質）	WAV 24bit/48kHz	1 分で約 20MB
パソコンで音楽 CD 製作	WAV 16bit/44.1kHz	1 分で約 10MB
インターネット音楽配信	MP3 128kbps/44.1kHz	1 分で約 1MB

サンプルレートと録音モードを設定する

1. [SCENE] を押して、「シーン」画面を表示させます。
2. **[▶/II]** / **[■]** でサンプルレートの行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** でサンプルレートの値を変更します。

シーン:	OFF
サンプルレート:	44.1kHz
録音モード:	WAV-16bit
リミッター:	OFF
ローカット:	OFF

3. **[▶/II]** / **[■]** で録音モードの行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** で録音モードの値を変更します。

シーン:	OFF
サンプルレート:	44.1kHz
録音モード:	WAV-16bit
リミッター:	OFF
ローカット:	OFF

4. [SCENE] を押して、基本画面に戻ります。

2xWAV（デュアル・レベル・レコーディング）

録音モードを 2xWAV- として録音すると、設定した入力レベル（P.17）と、その入力レベルより約 20dB 小さな入力レベルで同時に録音できます。入力レベルを設定しても、実際に録音したときの音量が大きくなりすぎて、録音した音が歪む可能性があるときにおすすめの設定です。

録音すると、2 つのファイルができます。ファイル名が R07_0010.WAV のときの例です。

R07_0010.WAV	設定した入力レベルでの録音
R07_0010L.WAV	設定したレベルより約 20dB 小さな入力レベルでの録音

録音時間の目安

microSD カードに録音できる時間の目安は以下のとおりです。

録音可能時間 (目安)

単位: 分

録音モード		microSD カードのサイズ				
		2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
WAV	WAV (24bit / 96kHz)	55	110	220	450	900
	WAV (24bit / 88.2kHz)	60	120	240	490	980
	WAV (24bit / 48kHz)	110	220	440	900	1800
	WAV (24bit / 44.1kHz)	120	240	480	980	1950
	WAV (16bit / 96kHz)	80	160	320	670	1350
	WAV (16bit / 88.2kHz)	88	176	352	735	1470
	WAV (16bit / 48kHz)	166	332	664	1350	2700
	WAV (16bit / 44.1kHz)	180	360	720	1470	2950
MP3	MP3 (320kbps)	797	1540	3080	6450	12950
	MP3 (128kbps)	1993	3990	7980	16180	32350
WAV+MP3	WAV (16bit / 48kHz) +MP3 (128kbps / 48kHz)	152	305	610	1240	2490
	WAV (16bit / 44.1kHz) +MP3 (128kbps / 44.1kHz)	165	330	660	1345	2690
WAVE × 2 (2xWAV)	WAV (24bit / 48kHz)	55	110	220	450	900
	WAV (24bit / 44.1kHz)	60	120	240	490	975
	WAV (16bit / 48kHz)	83	166	332	675	1350
	WAV (16bit / 44.1kHz)	90	180	360	735	1475

ご注意!

- 上記の録音時間は目安です。カードの仕様により変わることがあります。また、録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより短くなります。
- 1 ファイルの録音可能なサイズは最大 2GB です。

リミッターまたは AGC を使う

リミッターの設定で、「ON」にしてリミッターを使うか、「AGC」にしてオート・ゲイン・コントロールを使うか、または「OFF」にするか設定することができます。通常は「OFF」に設定します。

リミッターは入力された音が大きすぎたときに、入力レベルを適度なレベルまで圧縮して歪みを抑える機能です。

AGC は入力されるレベルが小さいときは大きく増幅し、大きい場合はレベルを抑え、全体をなるべく均等なレベルにして録音します。会議など、遠くの人、近くの人、声の大きい人、小さい人の声を同じ音量で録音することができます。

リミッターを「ON」にしたり「AGC」にしたりして楽器演奏や音楽を録音すると、演奏の抑揚が均一なレベルに録音され、音楽本来の表現が損なわれてしまいます。「ありのまま」のサウンドを録音したいときは「OFF」に設定してください。

ご注意！

- リミッターが「AGC」のときは、手動で入力レベルを設定できません。
- リミッターが「AGC」のときは、リハーサル機能は使えません。

リミッターを設定する

1. [SCENE] を押して、「シーン」画面を表示させます。
2. 「シーン」画面で、[▶/II] / [■] でリミッターの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] でリミッターの値を変更します。

```

サンプルレート: 44.1kHz
録音モード: WAV-16bit
リミッター: OFF
ローカット: OFF
入力レベル: 35
  
```

(初期値: 太字)

リミッター	OFF
	ON
	AGC

3. [SCENE] を押して、基本画面に戻ります。

ご注意！

リミッターが「AGC」のときは、INPUT [＋] [－] は無効になり、入力レベルは手動で調整できません。

低音域をカットする

ローカットを「OFF」以外に設定すると、特定の周波数以下の低音域をカットします。通常は「OFF」に設定します。

野外録音時の強い風による「吹かれノイズ」や車の騒音、機械の運転音、振動など低域成分を多く含むノイズが気になる場合は、低音域をカットするとノイズが軽減されます。

また、ボーカル録音時の「吹かれノイズ」や、こもった音質が気になる場合も低音域をカットすることにより、すっきりとした音で録音できます。

カットする周波数の設定方法

1. [SCENE] を押して、「シーン」画面を表示させます。
2. 「シーン」画面で、[▶/II] / [■] でローカットの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] でローカットの値を変更します。

```

サンプルレート: 44.1kHz
録音モード: WAV-16bit
リミッター: OFF
ローカット: OFF
入力レベル: 35
  
```

(初期値: 太字)

ローカット	OFF
	100Hz
	200Hz
	400Hz

3. [SCENE] を押して、基本画面に戻ります。

入力レベルを調節する

R-07 は、幅広い音を収録するように設計されていますが、録音対象に応じて最適な入力レベル（音量）を設定することで、より高音質で録音することができます。

レベル設定の基本は、歪まない範囲でできる限り大きなレベル（音量）で入力することです。これは内蔵マイク、外部マイク、AUX IN のいずれを使用する場合でも同じです。

手動で入力レベルを設定する

ご注意！

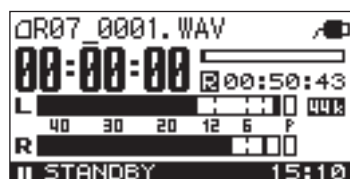
リミッター（P.16）が「AGC」のときは、手動で入力レベルを設定できません。

1. 録音したい対象に R-07 のマイクを向けます。
2. 基本画面で **●** を押して REC/PLAY インジケータを赤く点滅させます。

録音待機状態になります。

3. マイクに向かって実際に録音する音を鳴らしてみます。

R-07 に入力される音の大きさに応じてレベル・メーターが振れます。



楽器演奏やボーカルなど、音楽の演奏を録るときは楽曲の一番音量の大きい部分を演奏するとよいでしょう。

4. 音を鳴らしながら、INPUT [+][-] を押し、入力レベルを少しずつ調整します。

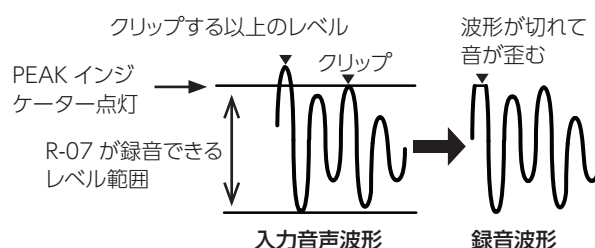
メモ

録音モードを 2xWAV-（デュアル・レベル・レコーディング）に設定したときは、入力レベルを 1 ～ 41 に設定できません。

レベル・メーターが右に振れるほど大きな音を集音していることを表します。できるだけ大きく集音するように INPUT [+][-] を押して調整してください。

ただし、PEAK インジケータが点灯してしまうと、入力音量が大き過ぎる状態です。

PEAK インジケータが点灯している状態というのは、R-07 が記録できる最大の入力音量に達している状態（クリップしている状態）で、さらに大きな音が入ってきても本来の音量で録音されません。このようなとき録音された音はバリバリと歪んだ状態になっています。



最も大きな音でも PEAK インジケータが点灯しない（クリップしない）ように INPUT [+][-] を調整します。歌であれば一番盛り上がる場所、楽器であればフォルテシモの音が出るときにクリップしないようにしておきます。

5. レベルの設定が終わってから、**●** を押すと録音が始まります。

メモ

- 録音を中止する場合、**■** を押すと基本画面に戻ります。このときレベル設定は維持されているので、もう一度 **●** を押せば、同じ入力レベルで録音を始めることができます。
- INPUT [+][-] を操作しているときに、入力レベルが切り替わるタイミングで小さなノイズが聞こえることがありますが、故障ではありません。

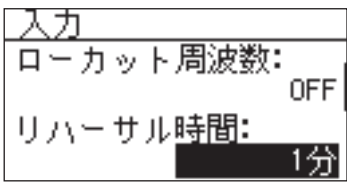
リハーサル機能を使う

リハーサル機能を使って、指定した時間内に入力された音声から最適な入力レベルを自動的に設定することができます。

【注意！】

リミッター（P.16）が「AGC」のときは、リハーサル機能は使えません。

- 1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「入力」を選び、●を押します。
- 2. ▶/II / ■ でリハーサル時間の行にカーソルを
合わせ、◀◀ / ▶▶ で時間を設定します。



(初期値：太字)

リハーサル時間	マニュアル
	30 秒
	1 分
	3 分
	5 分

- 3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。
- 4. 録りたい音源にマイクを向け、[REHEARSAL] を押
します。



リハーサル時間内の最大の音量に合わせて入力レベルが自動的に設定されます。また、同時に適切なマイクの感度が検出されます。設定が終われば基本画面に戻ります。

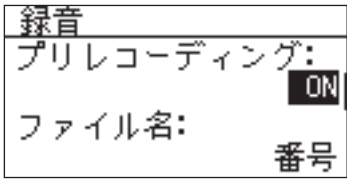
リハーサル時間を「マニュアル」に設定している場合は、■を押してリハーサルを終了します。

楽器演奏やボーカルなど、音楽の演奏を録るときは楽曲の一番音量の大きい部分を演奏するとよいでしょう。

プリレコーディング機能を使う

R-07 には ● を押す 2 秒前にさかのぼって録音を開始することが可能なプリレコーディング機能が搭載されています。野外での録音など、録りたい音がいつ鳴り始めるかわからないような場面でも、鳴り始めを逃すことなく録音できます。

- 1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「録音」を選び、●を押します。
- 2. ▶/II / ■ でプリレコーディングの行にカーソル
を合わせ、◀◀ / ▶▶ で「ON」を選びます。

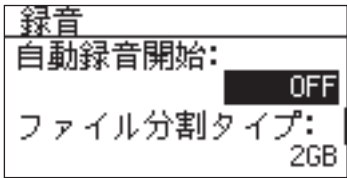


- 3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

自動録音開始機能を使う

自動録音開始機能を使って、設定した時間が経過したとき、または入力レベルが特定の値以上となったときに、自動的に録音を開始させることができます。

- 1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「録音」を選び、●を押します。
- 2. ▶/II / ■ で自動録音開始の行にカーソルを合
わせ、◀◀ / ▶▶ で録音開始までの時間、または
自動的に録音を開始する入力レベルを選びます。



(初期値：太字)

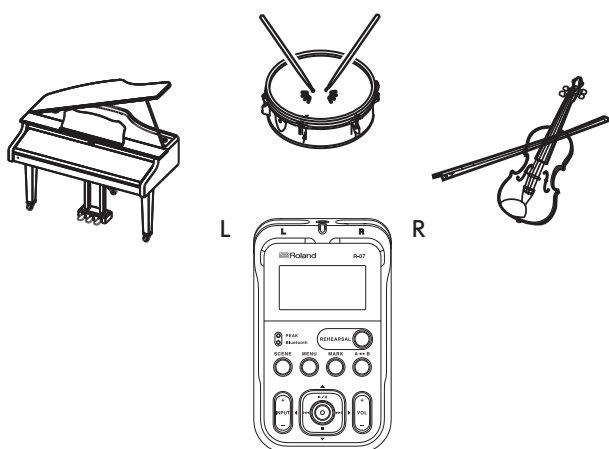
自動録音開始	自動録音を使わない	OFF
	録音開始までの時間	2 秒
		5 秒
		10 秒
	録音を開始するレベル	レベル 1 (-60dB)
		レベル 2 (-30dB)
		レベル 3 (-20dB)

- 3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。
- 4. 基本画面で●を押してREC / PLAYインジケーター
を赤く点滅させます。
録音待機状態になります。
- 5. もう一度 ● を押します。

設定した時間が経過、または設定した入力レベルを検知したら自動的に録音を開始します。

楽器や声を録音する

内蔵マイクを使う



内蔵マイクはステレオ・タイプのマイクです。

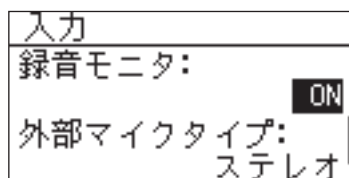
R-07 本体の右側のマイクが右チャンネル (R)、左側が左チャンネル (L) として録音されます。

ご注意！

- マイク録音をする際には、ハウリング（キーンという音）を避けるため外部スピーカーを接続しないでください。
- MIC/AUX IN 端子にマイクや機器を接続している場合は、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用する場合には、MIC/AUX IN 端子に何も接続しないでください。

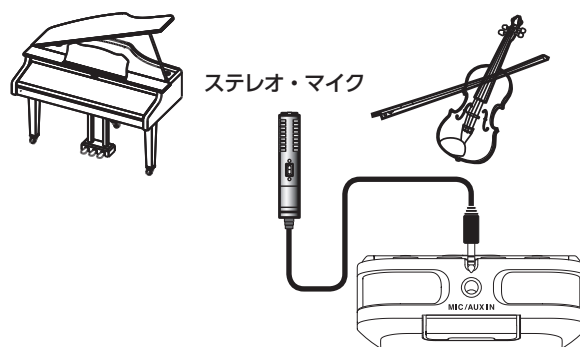
メモ

録音する音声をヘッドホンで聴きながら（モニターしながら）録音する場合は、録音モニタを「ON」にしてください。



詳しくは、「R-07 本体の各種設定」(P.38) をご覧ください。

外部マイクを使う



R-07 は、ダイナミック・マイクや、パソコンのマイク端子などに接続するタイプのコンデンサー・マイクを使用することができます。

ご注意！

- マイク録音をする際には、ハウリングを避けるため外部スピーカーを接続しないでください。
- 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

使用するマイクに合わせた設定

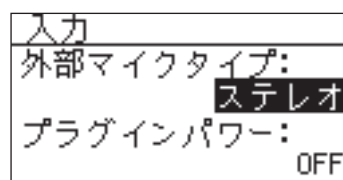
外部マイクタイプの設定

モノラル/ステレオの設定をします。MIC/AUX IN 端子に接続するマイクに合わせて切り替えます。

メモ

モノラル・マイクを使用するとき、外部マイクタイプを「ステレオ」に設定して録音すると、L チャンネルしか録音されません。「モノラル」に設定すると、L と R チャンネルに同じ音（ステレオ）が録音されます。

- [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/II] / [■] で「入力」を選び、[●] を押します。
- [▶/II] / [■] で外部マイクタイプの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で「モノラル」か「ステレオ」を選びます。



(初期値：太字)

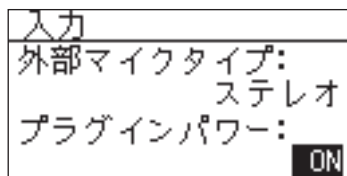
外部マイクタイプ	ステレオ	外部マイクの種類がステレオの場合
	モノラル	外部マイクの種類がモノラルの場合

- [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

プラグインパワーの設定

使用するマイクがプラグイン・パワー・マイクの場合は「ON」に、電池またはプラグイン・パワーから電源供給が不要なマイクの場合は「OFF」に設定します。

1. **[MENU]** を押して「メニュー」画面を表示させ、**[▶/II]** / **[■]** で「入力」を選び、**[●]** を押します。
2. **[▶/II]** / **[■]** でプラグインパワーの行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** で「ON」か「OFF」を選びます。



(初期値：太字)

プラグインパワー	OFF	ダイナミック・マイクや電池内蔵タイプのコンデンサー・マイク
	ON	プラグイン・パワー・タイプのコンデンサー・マイク

ご注意！

ダイナミック・マイクや電池内蔵マイクを接続するときは、必ずプラグインパワーを「OFF」にしてお使いください。間違った設定で使用すると故障する恐れがあります。

3. **[MENU]** を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ダイナミック・マイクとは

耐久性に優れ、ボーカルや楽器の録音に適しています。電源供給の必要がありません。

コンデンサー・マイクとは

感度が高く、生楽器や会議の声など小さい音の録音に適しています。電池またはプラグイン・パワーから電源の供給が必要です。

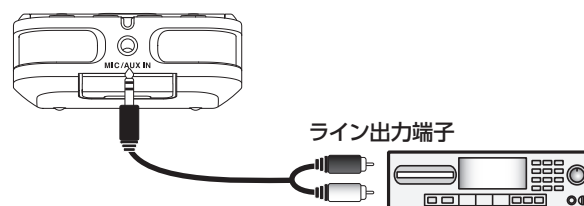
カセットや CD の音を録音する

R-07 はマイクを使った楽器演奏の録音やボイス・メモとして使う以外に、MIC/AUX IN 端子を使ってカセットや CD の音を録音することもできます。

ご注意！

- 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、MIC/AUX IN 端子に接続した機器の音量が小さくなる場合があります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。
- レコード・プレーヤーを接続して録音する場合には、別途フォノイコライザーが必要です。

ここでは CD プレーヤーからの音を R-07 で録音する場合を例として説明します。



1. **CD プレーヤーを接続します。**

CD プレーヤーのライン出力端子と R-07 の MIC/AUX IN 端子をオーディオ・ケーブルで接続します。

2. **入力レベルを調整します。**

CD プレーヤーで録音したいファイルを再生しながら、入力レベルを調整します。

入力レベルを調整したら、録音したいファイルを頭出ししておきましょう。

録音中にマークを付ける

WAV ファイルを録音中にマークを付けることができます。
 マークをつけておくと、再生時に [◀◀] [▶▶] ボタンを押してマークした位置にジャンプすることができます。
 ※ MP3 ファイルには、マークを付けることができません。

手動でマーキングする

1. 録音を始めます。
2. マークを付けたいタイミングで [MARK] を押します。
3. [■] を押して、録音を停止します。

つけたマークを削除するときは、マークの付いた箇所 [MARK] を押します。

録音中にファイルを分割する

ファイルを分割すると、分割した箇所から再生することができます。
 長時間にわたって連続録音をするときに、あとで検索する必要がありそうな箇所で分割しておく便利です。

手動で分割する

メモ

初期設定では、[●] ボタンを押すと分割することができます。「手動ファイル分割」(P.39) の設定を変えることで、[A ◀▶ B] ボタンを押して分割することもできます。

1. 録音を始めます。
2. 分割したいタイミングで [●] を押します。

ボタンを押した箇所でファイルが分割されます。

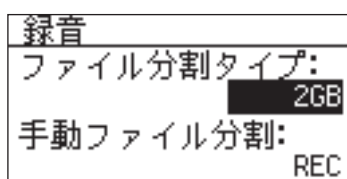
3. [■] を押して、録音を停止します。

自動で分割する

R-07 は、録音中のファイルが設定したサイズに達したとき、または入力レベルが設定した値以下になったときに、自動的にファイルを分割します。

初期設定ではファイルサイズが 2GB に達するとファイルを自動分割するように設定されています。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「録音」を選び、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] でファイル分割タイプの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で自動分割するファイルサイズ、または入力レベルを選びます。



(初期値: 太字)

ファイル分割タイプ	ファイルを自動分割するサイズ	64MB
		128MB
		256MB
		512MB
		1GB
		2GB
ファイルを自動分割する入力レベル		レベル 1 (-60dB)
		レベル 2 (-30dB)
		レベル 3 (-20dB)

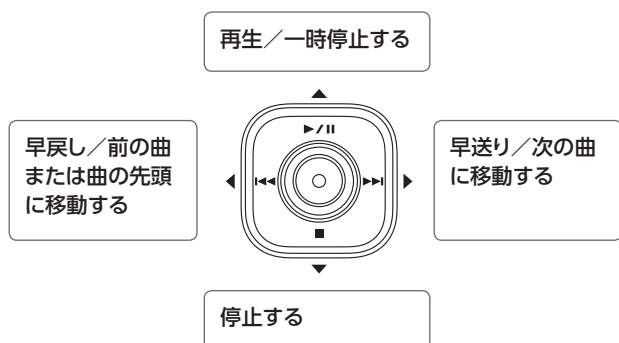
3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ご注意!

- microSD カードによっては、まれに録音が途切れることがあります。最新の動作確認情報は、ローランド・ホームページ (<http://roland.cm/r-07sd>) をご覧ください。
- R-07 で再生するときに前後のファイルを途切れることなく再生 (ギャップレス再生) することはできません。
- ファイルの分割は、1 ファイルに 2 秒以上録音された場合に可能になります。2 秒以下の間隔でファイルを分割することはできません。

再生する

再生の基本操作



1. 基本画面を表示させます。
2. [◀◀] / [▶▶] で再生したいファイルを選びます。

メモ

ディスプレイに「No Song」と表示されている場合は、現在のフォルダ内にR-07で再生できるファイルがないことを意味します。

「No Card」と表示されている場合は、microSD カードがセットされていないことを意味します。

3. [▶/||] を押して、ファイルを再生します。

REC / PLAY インジケータが緑に点灯します。

再生中に [▶▶] を押し続ける間は早戻し、[◀◀] を押し続ける間は早送りをします。それぞれのボタンから手を離すと再び再生が始まります。

ご注意!

再生中に早戻しや早送りの操作をするとき、microSD カードの種類によっては、データの読み込み速度が間に合わず、早戻しや早送りの動作が停止してしまうことがあります。

このようなときは、いったん [■] を押して再生を終了してください。その後、もう一度再生してください。

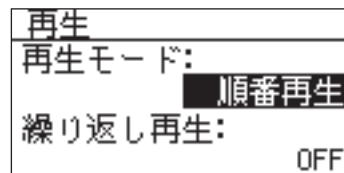
4. VOL [+]/[-] で音量を調整します。

5. [■] を押して、再生を終了します。

再生モードと繰り返し再生の設定

ファイルの再生のしかたを設定します。1 番から順番通りに再生する基本的な動作の他、選んだ 1 ファイルのみを再生したり、ファイルの順番を自動的に入れ替えて再生（シャッフル再生）したりすることができます。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/||] / [■] で「再生」を選び、[●] を押します。
2. [▶/||] / [■] で再生モードの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で設定を変更します。



(初期値: 太字)

再生モード	1 曲再生 (1 ファイルを再生)
	順番再生 (順番通りに再生)
	シャッフル (シャッフル再生)

3. [▶/||] / [■] で繰り返し再生の行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で繰り返し再生のオン/オフを設定します。

(初期値: 太字)

繰り返し再生	OFF (繰り返し再生しない)
	ON (繰り返し再生する)

メモ

- 各設定の組み合わせは以下のとおりです。

(初期値: 太字)

再生モード	繰り返し再生	説明
1 曲再生	OFF	1 ファイルのみ再生後停止
	ON	1 ファイルを繰り返し再生
順番再生	OFF	順番通り再生後停止
	ON	順番通り繰り返し再生
シャッフル	OFF	シャッフル再生後停止
	ON	シャッフルした順番で繰り返し再生

- 「シャッフル」の設定で繰り返し再生を「ON」にした場合、一通りシャッフル再生が終了したあとに同じファイル順で再生を繰り返します。順番をシャッフルし直すには一度 [■] を押して、もう一度 [▶/||] を押してください。
- 「J」で始まるファイル名は、表示されません。
- ファイルの拡張子が .WAV か .MP3 以外のファイルは、表示されません。
- ディスプレイに表示されているファイル名は、MP3 の ID3 タグには対応していません。

ファイルにマークを付ける

WAV ファイル内の任意の位置にマークを付けて、マークした位置にジャンプすることができます。

※ MP3 ファイルには、マークを付けることができません。

1. 基本画面を表示させます。
2. [▶/II]、[■]、[◀◀]、[▶▶] を使って再生や早送り、早戻しをしながら、マークをつけたい位置を探します。
3. マークをつけたい位置が見つかったら、[MARK] を押します。

マークの数が表示されます。マークは、ファイルの先頭から順に番号が付けられます。

マークは、最大 99 個まで付けることができます。手順 2、3 を繰り返して、必要なポイントにマークをつけていきます。

マークへ移動する

[◀◀] を押して、現在位置の直前のマークに移動します。

[▶▶] を押して、現在位置の直後のマークに移動します。

マークを削除する

マークの付いた箇所ですべて [MARK] を押します。

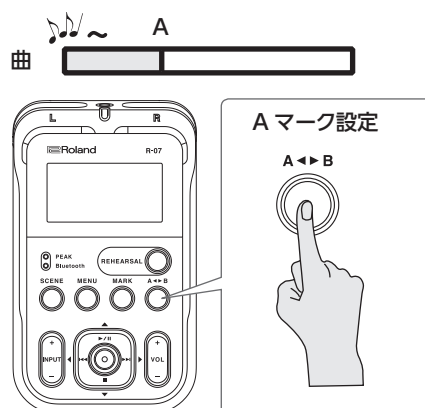
ファイルの一部を繰り返し再生する

ファイルの中で指定した一定区間を繰り返し再生します (AB リPEAT)。気になるところを何度でも繰り返し再生してチェックすることができます。

1. [▶/II] を押して、ファイルを再生します。

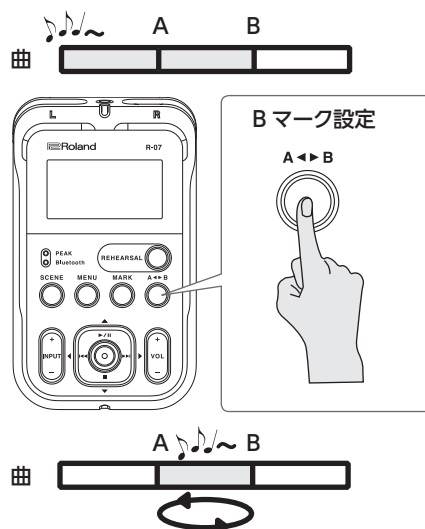
2. 開始地点 (A マーク) を設定します。

再生中に、[A ◀▶ B] を一度押します。その時点がリピート再生の開始地点 (A マーク) となります。



3. 終了地点 (B マーク) を設定します。

再度 [A ◀▶ B] を押します。その時点がリピート再生の終了地点 (B マーク) となります。



設定の解除方法

- A マーク、B マークが設定されている状態で [A ◀▶ B] を押すと、A マーク、B マークの設定が解除されます。
- 再生を止めるときは、[■] を押してください。リピート再生の設定 (A マーク、B マーク) は記憶されたまま再生が停止します。

メモ

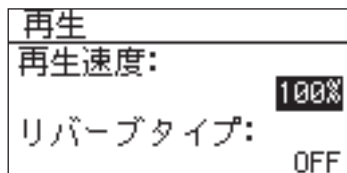
- A マークを設定したあと、B マークを設定しないでファイルが最後まで再生されてしまったときには、A マークとファイルの終わりまでの間を繰り返し再生します。
- [◀◀] / [▶▶] で他のファイルを選ぶと、リピートの設定は解除されます。

再生する速度を変える

サンプルレートが 88.2kHz や 96.0kHz では機能しません

ピッチを変えずに速く再生したり、ゆっくり再生したりすることができます。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「再生」を選び、● を押します。
2. ▶/II / ■ で再生速度の行にカーソルを合わせ、
[◀◀] / [▶▶] で設定を変更します。

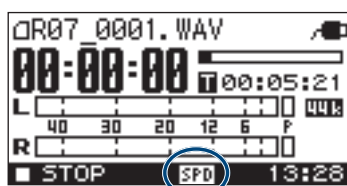


(初期値：太字)

再生速度	50%
	60%
	70%
	80%
	90%
	100%
	110%
	120%
	130%
	140%
	150%

3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

再生速度を「100%」以外にすると、画面下部に「SPD」と反転表示され、再生速度が変わります。



再生速度を「100%」にすると、元の速度に戻ります。

ご注意！

- 再生速度を「100%」以外にすると、リバーブ効果 (P.24) はかからなくなります。
- 再生速度を大幅に変えると、音質が変わります。
- 別のファイルを選ぶと、再生速度は「100%」に戻ります。

INPUT [+] [-] ボタンで再生速度を変える

再生中に INPUT [+] [-] ボタンを押すと、再生速度が変わり、再生速度の値が表示されます。

再生時にリバーブ効果をかける

サンプルレートが 88.2kHz や 96.0kHz では機能しません

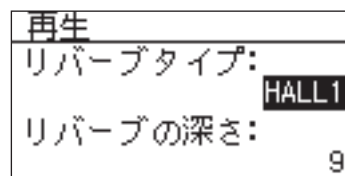
R-07 はファイルを再生するときに、リバーブ効果を加えることができます。リバーブとは大きなホールなどで演奏しているような残響を加えるエフェクト (効果) です。

ご注意！

- リバーブをかけた音を録音することはできません。また録音中のモニター音にリバーブを加えることはできません。
- リバーブ効果をかけると、再生速度 (P.24) は「100%」になります。

リバーブ効果をかける

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / ■ で「再生」を選び、● を押します。
2. ▶/II / ■ でリバーブタイプの行にカーソルを合わせ、
[◀◀] / [▶▶] で設定を変更します。

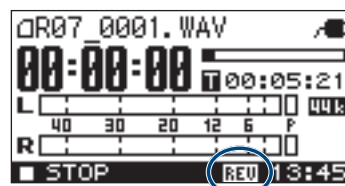


(初期値：太字)

リバーブタイプ	OFF	リバーブ効果はかかりません。
	HALL1	コンサートホールのでの残響音をシミュレーションしたリバーブです。マイルドで広がりのある長めの残響音が得られます。
	HALL2	ホール 2 はホール 1 より短めの残響音になります。
	ROOM	室内の残響音をシミュレーションしたリバーブです。ライブハウスやスタジオをイメージした明るい音色の短めの残響音が得られます。
	PLATE	プレート・リバーブ (金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット) をシミュレーションしたリバーブです。高域が伸びた金属的な響きがかかります。

3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

リバーブタイプを「OFF」以外にすると、画面に「REV」が反転表示され、リバーブ効果がかかります。

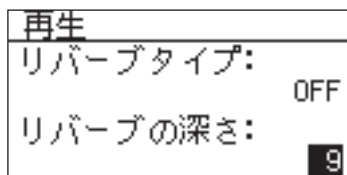


リバーブタイプを「OFF」にすると、リバーブ効果が解除されます。

リバーブの深さを変える

リバーブの深さを調節します。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「再生」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] でリバーブの深さの行にカーソルを
合わせ、[◀◀] / [▶▶] で設定を変更します。



リバーブの深さ 1 ~ 10

3. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

再生可能なファイルの種類

R-07 では以下のファイルを再生することができます。

サンプルレート (kHz)		サンプル・サイズ (bits)
WAV	32.0、44.1、48.0、88.2、96.0	16、24
サンプルレート (kHz)		ビットレート
MP3	32.0、44.1、48.0	32 ~ 320kbps、VBR

VBR とは

Variable Bit Rate (可変ビットレート) のことで、音の密度が低い場面ではビットレートを低くし、密度が高い場面ではビットレートを高くします。

モバイル機器から操作する

Bluetooth® 機能を使い、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器から R-07 を遠隔操作できるようになります。

※ iOS と Android に対応したアプリです。

ここでは、アプリのインストールと初期設定のしかたを説明します。

アプリ「R-07 Remote」をインストールする

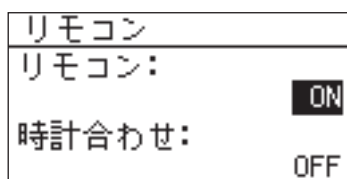
1. モバイル機器の web ブラウザーから、以下の URL にアクセスします。

<http://roland.cm/r-07>

表示されたページから、お使いのモバイル機器に合ったアプリをインストールしてください。

R-07 を設定する

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「Bluetooth」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] で「リモコン」を選んで、[●] を押します。
3. [▶/II] / [■] でリモコンの行にカーソルを合わせ、
[◀◀] / [▶▶] で「ON」にします。



Bluetooth インジケーターが点灯します。

4. [MENU] を 3 回押して、基本画面に戻ります。

モバイル機器を設定する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

※ モバイル機器の Bluetooth 設定に表示された「R-07」をタップしないでください。

R-07 Remote を起動する

1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。

メモ

本機を複数台お持ちの場合、接続する機器のみ電源を入れてください（他の機器の電源は切ってください）。

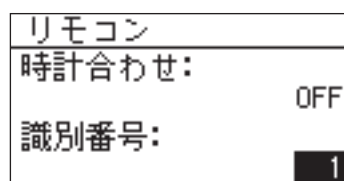
2. R-07 Remote を起動します。

初めて R-07 Remote を起動したときや R-07 の設定を初期化したときは、表示された R-07 をタップします。

接続が完了すると、Bluetooth インジケーターが点灯します。

複数台 R-07 をお持ちのとき

識別番号を別に設定します。



(初期値: 太字)

識別番号 0 ~ 99

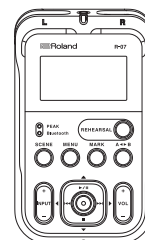
識別番号を変更したときは、R-07 を再起動してください。再起動することで設定が反映されます。

モバイル機器それぞれに R-07 Remote をインストールして、R-07 Remote を起動します。

例:



識別番号: 0



識別番号: 1



R-07 Remote を起動する
Roland R-07 MIDI をタップする



R-07 Remote を起動する
Roland R-07 MIDI-01 をタップする

モバイル機器の時刻と合わせる

アプリ「R-07 Remote」とR-07を接続したときに、R-07の時刻をモバイル機器の時刻に自動的に合わせることができます。

リモコン	
リモコン:	ON
時計合わせ:	ON

(初期値: 太字)

時計合わせ	OFF	時刻を合わせない
	ON	時刻を自動的に合わせる

メトロノームを使う

メトロノームを単体で使用する

楽器の練習時に内蔵スピーカーやヘッドホンからメトロノームを鳴らすことができます。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/II] / [■] で「メトロノーム」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] で BPM (テンポ) を調節し、[◀◀] / [▶▶] で BEAT (1 小節内の拍数) を設定します。

Metronome	
BPM	BEAT
120 ↕	◀ 4 ▶

(初期値：太字)

BEAT	0 ~ 4 ~ 8
BPM	30 ~ 120 ~ 250

3. [●] を押して、メトロノームを鳴らします。
もう一度押すとストップします。
ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音は鳴りません。
4. VOL [+][-] で音量を調整します。

録音時にメトロノームを鳴らす

録音待機または録音するときにヘッドホンでメトロノームを鳴らすことができます。

録音するときには内蔵スピーカーから出力されません。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/II] / [■] で「録音」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] でメトロノーム音量の行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で設定を変更します。

録音	
手動ファイル分割:	REC
メトロノーム音量:	5

(初期値：太字)

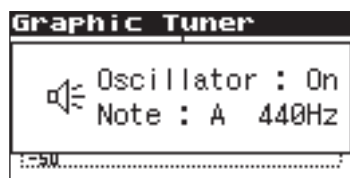
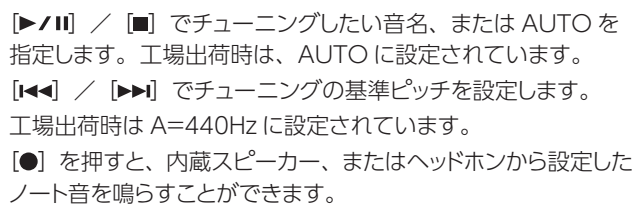
メトロノーム音量 **OFF**、1 ~ 10

メトロノームを使用しないときは「OFF」に設定します。

チューナーを使う

いずれのチューナーにも、自動的に音名を表示する「オート・タイプ」と、あらかじめ音名を指定する「マニュアル・タイプ」が用意されています。

チューナー、グラフィック・チューナーの基本操作



チューナー

[MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / [■] で「チューナー」を選んで、[●]
を押します。

- | | |
|--------------|------------|
| Tuner | |
| NOTE
AUTO | ◀ 440 Hz ▶ |

(初期値：太字)	
タイプ／NOTE	AUTO ／ C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B
基準ピッチ	435Hz ～ 440Hz ～ 445Hz

- ディスプレイ下部のインジケーターの中心が点灯するようにチューニングします。

[illegible][illegible]

Tuner

NOTE A ◀ ▶
AUTO
◀ 440 HZ ▶

-50 +50

▶▶▶▶▶□◀◀◀◀◀◀◀

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

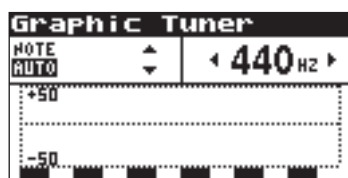
メモ

グラフィック・チューナー

ピッチ変化を、リアルタイムにグラフで表示するチューナーです。

ボーカルや管楽器など、安定したピッチで演奏する練習に便利な機能です。

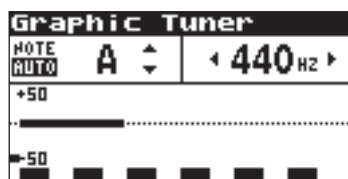
1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「グラフィック チューナー」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] でチューナーのタイプ／NOTE を、
[◀◀] / [▶▶] で基準ピッチを設定します。



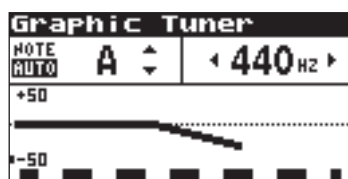
(初期値：太字)

タイプ／NOTE	AUTO / C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B
基準ピッチ	435Hz ~ 440Hz ~ 445Hz

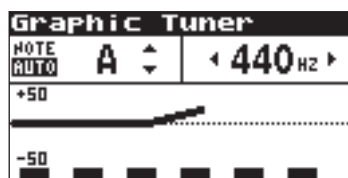
3. マイクに向けて、チューニングしたい音を鳴らします。
グラフの値が縦軸の中央(±0)にくるようにピッチを調整します。
ピッチが合えば下部の点線表示が静止します。



設定した NOTE より低いときは中心より下側が点灯し、点線表示が右から左へ流れます。



設定した NOTE より高いときは中心より上側が点灯し、点線表示が左から右へ流れます。



メモ

チューナー、グラフィック・チューナーを使用しているときの入力レベルは、内蔵マイク、MIC/AUX IN 入力のいずれも固定で、調節することはできません。

パソコンと接続する

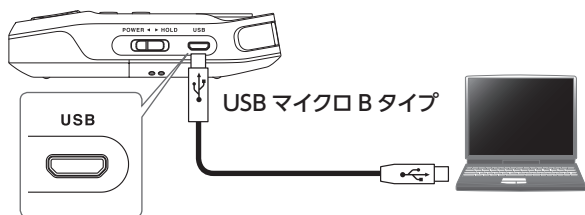
R-07 とお持ちのパソコンを USB ケーブルで接続することで、R-07 の microSD カードの中にあるファイルをパソコンに取り込み、音楽ソフトウェアなどで使用することができます。また、パソコンの中にあるファイルを R-07 に送って、R-07 で再生させることもできます。

詳しくは「再生可能なファイルの種類」(P.25) をご覧ください。

パソコンとファイルのやりとりをする (マス・ストレージ)

R-07 とパソコンを接続する

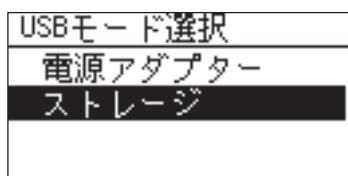
1. パソコンを起動します。
2. R-07 の microSD カード・スロットに、microSD カードが差し込まれていることを確認します。
詳しくは「microSD カードをセットする」(P.8) をご覧ください。
3. R-07 の電源を入れます (P.6)。
4. 基本画面を表示させます。
5. 市販の USB ケーブルで R-07 とパソコンを接続します。



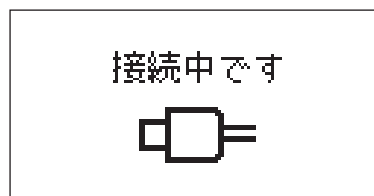
ご注意！

- USB ケーブルをパソコンに接続する際は、プラグの金属部分に触れないようにし、できるだけ付け根部分を持って接続してください。
- microSD カードがセットされていない状態でパソコンと接続すると、R-07 のディスプレイに「SD カードを入れてください」と表示されます。
- 「メニュー」画面のときや再生、録音中にはパソコンと接続しても認識されません。いったん R-07 とパソコンを接続している USB ケーブルをはずし、手順 3 に戻ってやり直してください。
- パソコンと接続された状態のとき、「接続中です」画面では各部の機能は使用できません。ボタンやスイッチなどを操作しても無視されます。
- パソコンに「この種類のファイルのディスクを挿入したり～」と表示された場合は「キャンセル」をクリックします。

6. **▶/II** / **■** で「ストレージ」を選び、**●** を押します。



しばらくすると R-07 がパソコンに認識され、R-07 のディスプレイには「接続中です」画面が表示されます。



接続されると R-07 の microSD カードは、パソコンからは次のように認識されます。

Windows	コンピューターやエクスプローラーからではリムーバブルディスクなどの名前で表示されます。
OS X / macOS	NO NAME などの名前でデスクトップに表示されます。

パソコン上でファイルをドラッグ&ドロップしてファイルをコピーします。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと R-07 の接続を解除します。必ず、次の手順に従って接続を解除し、USB ケーブルを抜いてください。

ご注意！

R-07 がパソコンに接続されている状態のときに、R-07 の電源を切ったり、USB ケーブルや microSD カードを抜いたりしないでください。

Windows 7 / 8 / 10

1. Windows のタスクトレイ内にある **■** をクリックし、続いて **■** をクリックします。
2. 「WAV/MP3 Recorder R-07 の取り出し」というメッセージをクリックします。
3. 「ハードウェアの取り出し」というメッセージが表示されたら、R-07 とパソコンを接続している USB ケーブルを取りはずします。

OS X / macOS

1. 「NO NAME」を Dock のゴミ箱にドラッグします。



※ macOS Sierra の画面を使用しています。
※ お使いの環境によって表示内容が異なる場合があります。
Dock 右端のゴミ箱が表示されている場所にドラッグすると、表示がゴミ箱から **■** に変わり、接続を解除することができます。

2. 接続を解除します。

デスクトップから「NO NAME」または「名称未設定」のアイコンが消えたら、R-07 とパソコンを接続している USB ケーブルから取りはずすことができます。または、R-07 の電源を切ることができます。

ファイルやフォルダを扱う

R-07 は microSD カードにオーディオ・ファイルを保存します。「ファインダー」画面では、これらのファイルを一覧し、削除やコピーなどファイル进行操作するさまざまな機能があります。またフォルダを作成することもできるので、ファイルをフォルダに移動して管理することも可能です。

R-07 の microSD カードのファイル構成

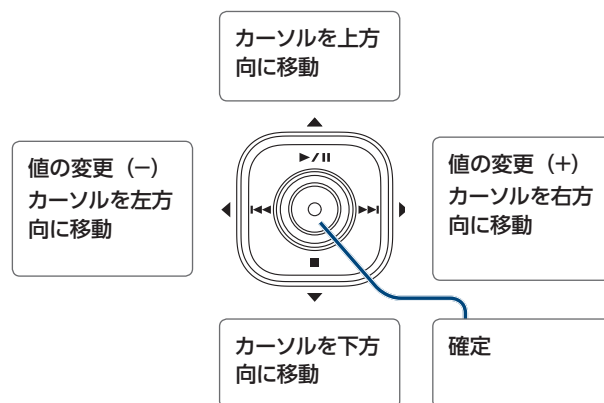
```
/ Root
├── □ R07_0001.WAV
├── □ R07_0002.WAV
├── □ R07_0003.WAV
├── □ R07_0004.WAV
├── □ Folder1
│   ├── □ R07_0001.WAV
│   ├── □ R07_0002.WAV
│   ├── □ R07_0003.WAV
│   └── □ Folder2
│       ├── □ R07_0001.WAV
│       └── □ R07_0002.WAV
└── ...
```

/	ルート	R-07 の一番上の階層
□	ファイル	[▶/II] / [■] で選んだファイルの変更
□	フォルダ	[▶▶] でフォルダに入る [◀◀] でフォルダから出る

メモ

- ファイル名やフォルダ名は変更することができます (P.34)。
- フォルダは任意の場所に作ることができます (P.37)。

基本操作



1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/II] / [■] で「ファインダー」を選んで、[●] を押します。
2. [▶/II] / [■] でファイルまたはフォルダを選び、[●] を押します。

```
ファインダー
├── □ R07_0004.WAV
├── □ R07_0005.WAV
├── □ R07_0006.WAV
└── □ R07_0007.WAV
```

メモ

フォルダの中 (下位フォルダ) を選びたいときには、フォルダを選んでから [▶▶] を押します。また、上位フォルダを選ぶときには [◀◀] を押します。

3. [▶/II] / [■] で機能を選び、[●] を押します。

```
ファインダー
├── □ R07_0004.WAV
├── 1 ファイル選択
├── 2 ファイル情報
└── 3 ファイル削除
```

ご注意！

以下のような画面が表示されているときは、電源を切ったり、microSD カードを抜いたりしないでください。

```
コピー
├── □ R07_0004.WAV
├── 処理中です
└── [STOP] : キャンセル
```

「ファインダー」画面操作一覧

選択の対象	機能	効果	手順
ファイル	ファイル選択	ファイルを選んで基本画面に移動します。	P.33
	ファイル情報	ファイルの情報を表示します。また、ファイル名を保護します。	P.33
	ファイル削除	ファイルを削除します。	P.34
	ファイル名変更	ファイル名を変更します。	P.34
	ファイル移動	ファイルを移動します。	P.34
	コピー	ファイルをコピーします。	P.34
	分割	ファイルを分割します。	P.35
	結合	ファイルを結合します。	P.35
	トリム処理	ファイルの先頭と末尾を削除します。	P.36
	MP3 ファイル作成	WAV ファイルを MP3 に変換します。	P.36
	ファイル修復	ファイルを修復します。 * このメニューは、R-07 が壊れたファイルを認識した場合にのみ表示されます。	P.37
フォルダ	フォルダ選択	フォルダを選んで基本画面に移動します。	P.33
	フォルダ情報	フォルダの情報を表示します。	P.33
	フォルダ削除	フォルダを削除します。	P.34
	フォルダ名変更	フォルダ名を変更します。	P.34
	フォルダ作成	新規フォルダを作成します。	P.37

ファイルまたはフォルダを開く

録音済みのファイル一覧から、ファイルを選んで再生したいときなどに、この操作をします。

またフォルダを選ぶと、現在位置が選んだフォルダに移動し、基本画面では選んだフォルダ内のファイルが選べるようになります。選んだフォルダ内に録音することもできます。

1. 「ファインダー」画面で、ファイルまたはフォルダを選びます。
2. 「ファイル選択」または「フォルダ選択」を選びます。
ファイルまたはフォルダが選ばれて、基本画面に戻ります。

情報を見る

1. 「ファインダー」画面で、ファイルまたはフォルダを選びます。
2. 「ファイル情報」または「フォルダ情報」を選びます。
情報が表示されます。

ファイル情報	
R07_0002.WAV	
日付	17/09/03 12:25
サイズ	32.95MB
ファイル保護	ON

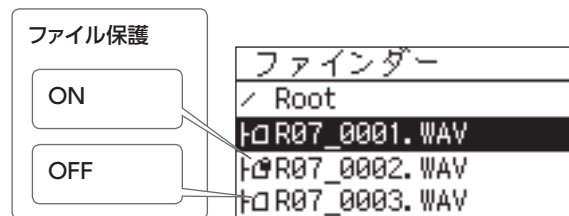
表示される情報	ファイルまたはフォルダ名
	日付（作成日付）
	サイズ
	ファイル保護（プロテクトのオン／オフ）
	タイプ（録音モード）
	サンプルレート（サンプリング周波数）

ファイル保護

誤ってファイルを消したり名前を変更したりしないように、保護することができます。

[◀◀] / [▶▶] で「OFF」 / 「ON」を切り替えます。

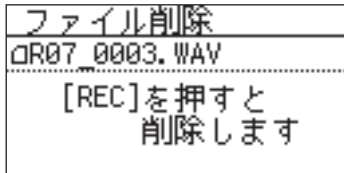
ファイル保護が ON になったとき、ファインダーで表示されるアイコンの形が変わります。



3. [MENU] を 3 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルまたはフォルダを削除する

1. 「ファインダー」画面で、ファイルまたはフォルダを選びます。
2. 「ファイル削除」または「フォルダ削除」を選びます。
3. 確認の画面が表示されたら、[●]を押して確定します。



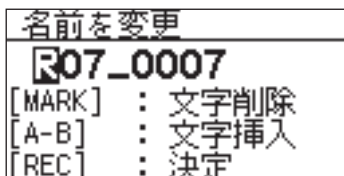
メモ

中止（キャンセル）する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。

4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイル名またはフォルダ名を変更する

1. 「ファインダー」画面で、ファイルまたはフォルダを選びます。
2. 「ファイル名変更」または「フォルダ名変更」を選びます。
3. [◀▶] / [▶▶] でカーソルを変更したい文字の位置に合わせます。



4. [▶/II] / [■] で文字を変更し、[●]を押して確定します。

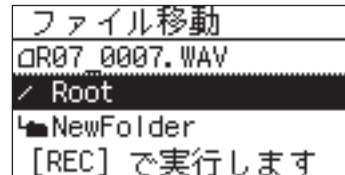
メモ

- R-07 本体でファイル名が変更できるのは、ASCII 文字（英数半角）のファイル名のみです。日本語など 2 バイト文字が含まれたファイル名は変更できません。
- [A◀▶B] で文字の挿入、[MARK] で文字の削除をします。
- 中止する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。
- 同じ名前がすでに存在する場合は、「すでに存在するファイル名です」と表示されます。違う名前に変更してください。

5. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルを移動する

1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。
2. 「ファイル移動」を選びます。
3. [▶/II] / [■] で移動先を選び、[●]を押します。



メモ

- [Root]を選ぶと R-07 の一番上の階層にファイルが移動します。フォルダを選ぶと、フォルダの中にファイルが移動します。詳しくは、「R-07 の microSD カードのファイル構成」(P.32) をご覧ください。
- フォルダの中（下位フォルダ）のファイルを選びたいときには、フォルダを選んでから、[▶▶]を押します。また、上位フォルダを選ぶときには [◀◀]を押します。
- 中止する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。

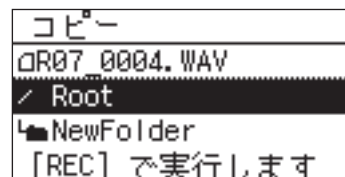
ご注意！

microSD カードの空き容量が足りないときは、移動操作ができません。

4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルをコピーする

1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。
2. 「コピー」を選びます。
3. [▶/II] / [■] でコピー先を選び、[●]を押します。



メモ

- [Root]を選ぶと R-07 の一番上の階層にファイルをコピーします。フォルダを選ぶと、フォルダの中にファイルをコピーします。詳しくは「R-07 の microSD カードのファイル構成」(P.32) をご覧ください。
- フォルダの中（下位フォルダ）を選びたいときには、フォルダを選んでから、[▶▶]を押します。また、上位フォルダを選ぶときには [◀◀]を押します。
- 中止する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。

4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ご注意！

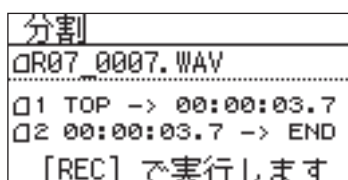
同じフォルダ内にファイルをコピーすると、コピー元のファイル名のあとに「-1」がついたファイルが作成されます。

ファイルを分割する

1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。
2. 「分割」を選びます。
3. **[▶/II]** / **[■]**、**[◀◀]** / **[▶▶]** を使って再生や早送り、早戻しをしながら、分割したい位置を探します。分割する位置が決まったら、**[●]** を押します。



4. 確認の画面が表示されたら、**[●]** を押して確定します。



メモ

オリジナルを残す (P.40) を「ON」にしている場合、分割されたファイルは、それぞれ新しいファイルとして保存されます。そのとき、編集元のファイル名のあとに -1 と -2 が自動的につけられます。編集元のファイルはそのままの状態に残ります。編集元のファイルが R07_0001.WAV という名前の場合は、R07_0001-1.WAV と R07_0001-2.WAV という名前の新しいファイルが作成されます。

ご注意!

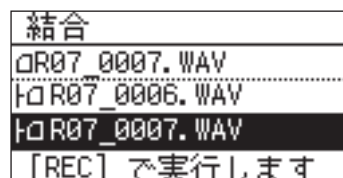
microSD カードの空き容量が足りないときは、「カードの容量が足りません」のメッセージが表示され、分割ができません。

5. **[MENU]** を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルを結合する

1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。
2. 「結合」を選びます。
3. 結合するファイルを選びます。

[▶/II] / **[■]** で、手順 1 で選んだファイルの後ろに結合したいファイルを選び、**[●]** を押します。



メモ

- オリジナルを残す (P.40) を「ON」にしている場合、結合したファイルは新しいファイルとして保存されます。結合元のファイル名のあとに -1 が自動的につけられます。編集元のファイルはそのままの状態に残ります。結合元のファイルが R07_0001.WAV という名前の場合、結合したファイルは、R07_0001-1.WAV という名前で作成されます。
- サンプルレートや録音モードが異なるファイルは結合することができません。

ご注意

- microSD カードの空き容量が足りないときは、「カードの容量が足りません」のメッセージが表示され、結合ができません。
- 結合後のファイルサイズが 2GB を超える場合は、結合をすることができません。

4. **[MENU]** を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルの不要な部分を消す（トリム）

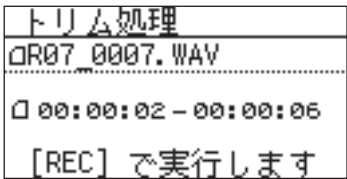
- 1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。
- 2. 「トリム処理」を選びます。
- 3. [▶/II] / [■]、[◀◀] / [▶▶] を使ってファイルを残す先頭の位置（Start Point）を探します。位置が決まったら、[●] を押します。



- 4. [▶/II] / [■]、[◀◀] / [▶▶] を使ってファイルを残す末尾の位置（End Point）を探します。位置が決まったら、[●] を押します。



- 5. 確認の画面が表示されたら、[●] を押して確定します。



メモ

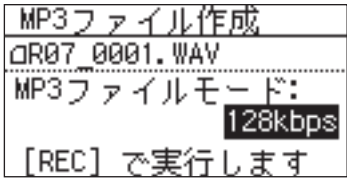
オリジナルを残す（P.40）を「ON」にしている場合、先頭と末尾が削除されたファイルは、それぞれ新しいファイルとして保存されます。そのとき、編集元のファイル名のあとに -1 が自動的につけられます。編集元のファイルはそのままの状態に残ります。編集元のファイルが R07_0001.WAV という名前の場合は、R07_0001-1.WAV という名前の新しいファイルが作成されます。

- 6. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

MP3 ファイルを作成する

サンプルレートが 88.2kHz や 96.0kHz では機能しません

- 1. 「ファインダー」画面で MP3 に変換したい WAV ファイルを選びます。
- 2. 「MP3 ファイル作成」を選びます。
- 3. [◀◀] / [▶▶] で MP3 ファイルモードの値を選び、[●] を押します。



(初期値：太字)

MP3 ファイルモード	64kbps
	96kbps
	128kbps
	160kbps
	192kbps
	224kbps
	320kbps

メモ

MP3 ファイルを作成したあとも、元の WAV ファイルは削除されません。

- 4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

ファイルを修復する

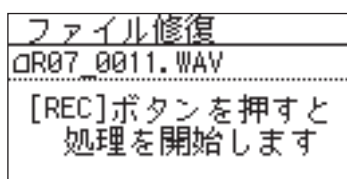
録音中にUSBケーブルが抜けて電源が切れたり、microSDカードを抜いたりしてしまうと、ファイルが壊れ再生ができなくなります。ファイルのリペア機能を使って修復することができる場合があります。

1. 「ファインダー」画面でファイルを選びます。

2. 「ファイル修復」を選びます。

このメニューは、壊れたファイルを R-07 が認識した場合にのみ表示されます。

3. 確認の画面が表示されたら、[●]を押して確定します。



中止（キャンセル）する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。

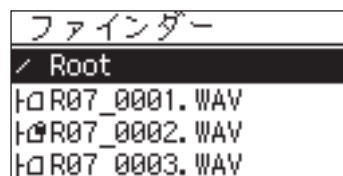
4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

フォルダを作成する

1. 「ファインダー」画面でフォルダを作成したい場所を選びます。

Root にフォルダを作成するとき

[▶/II] / [■] で Root を選び、[●] を押します。



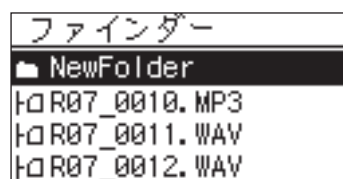
フォルダ内にフォルダを作成するとき

[▶/II] / [■] で新規作成するフォルダを置きたいフォルダを選びます。

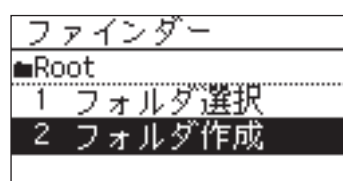


[▶▶] を押すとフォルダの中に入ります。

[▶/II] / [■] で、一番上に表示されているフォルダ名を選び、[●] を押します。

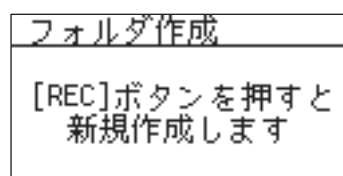


2. [▶/II] / [■] で「フォルダ作成」を選び、[●]を押します。



確認の画面が表示されます。

3. [●] を押して確定します。



「New Folder」が作成されます。

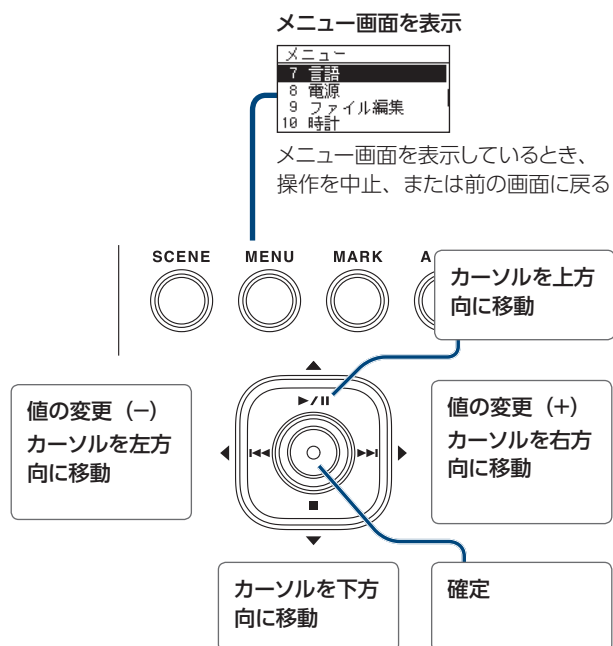
中止する場合は、[●]を押す前に[MENU]を押してください。

4. [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。

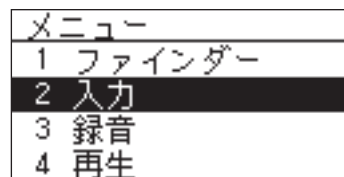
R-07 本体の各種設定

「メニュー」画面では、録音や再生に関する設定や日時の設定など、R-07 本体のさまざまな設定ができます。

基本操作



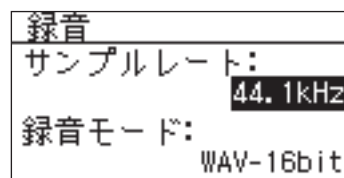
1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
▶/II / [■] で設定したいカテゴリーを選び、
[●] を押します。



ご注意！

ファイルの再生／録音中は画面を移動することができません。画面を移動したいときは、再生や録音を停止させてください。

2. ▶/II / [■] で設定したいメニューの行にカーソルを合わせ、[◀◀] / [▶▶] で値を設定します。



設定一覧

カテゴリー：ファインダー

microSD カード・スロットに差し込んだ microSD カード内のオーディオ・ファイルをコピーしたり、削除したりなど操作することができます (P.32)。

カテゴリー：入力

メニュー	効果	値 (初期値：太字)
リミッター	リミッターを使うか、オート・ゲイン・コントローラーを使うか設定します (P.16)。	OFF、 ON 、AGC
ローカット周波数	低音域をカットします (P.16)。	OFF 、100 Hz、200 Hz、400 Hz
リハーサル時間	指定した時間内に入力された音声から適切な入力レベルを自動設定します (P.18)。	マニュアル、30 秒、 1 分 、3 分、5 分
録音モニタ	録音時に入力する音声をヘッドホンでモニターする／しないを切り替えます。	OFF、 ON
外部マイクタイプ	MIC/AUX IN 端子に接続するマイクの種類を切り替えます (P.19)。	モノラル、 ステレオ
プラグインパワー	MIC/AUX IN 端子にプラグイン・パワード・マイク (パソコン接続用などに使用される電源供給が必要なタイプの小型コンデンサー・マイク) を接続するときは「ON」に設定します。2.5V の電圧が供給されます (P.20)。	OFF 、ON

カテゴリ：録音

メニュー	効果	値（初期値：太字）
サンプルレート	録音するときのサンプリング周波数を設定します（P.14）。 * 88.2kHz や 96.0kHz に設定すると、録音モードは WAV-16bit と WAV-24bit 以外選べません。	44.1kHz、48.0kHz、88.2kHz、 96.0kHz
録音モード	録音するときのファイルの種類を設定します（P.14）。 * 2xWAV-16bit、2xWAV-24bit、MP3 と WAV+MP3 はサンプルレートが 44.1kHz と 48.0kHz のときしか選べません。	2xWAV-16bit、2xWAV-24bit、WAV+MP3、MP3-64kbps、MP3-96kbps、MP3-128kbps、MP3-160kbps、MP3-192kbps、MP3-224kbps、MP3-320kbps、WAV-16bit、 WAV-24bit
プリレコーディング	[●] を押す 2 秒前にさかのぼって録音を開始するかどうかを設定します（P.18）。	OFF 、ON
ファイル名	ファイル名の付けかたを設定します。	日付、 番号
自動録音開始	自動録音開始機能を設定します（P.18）。	OFF 、2 秒、5 秒、10 秒、レベル 1、レベル 2、レベル 3
ファイル分割タイプ	ファイル分割タイプを設定します（P.21）。	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、 2GB 、レベル 1、レベル 2、レベル 3
手動ファイル分割	録音中にファイルを分割できるボタンを設定します（P.21）。	OFF、AB、 REC
メトロノーム音量	録音しているときに鳴らすメトロノームの音量を設定します。	OFF 、1 ～ 10

カテゴリ：再生

メニュー	効果	値（初期値：太字）
再生モード	ファイルを再生する順番を設定します（P.22）。	1 曲再生、 順番再生 、シャッフル
繰り返し再生	繰り返し再生するかどうかを設定します（P.22）。	OFF 、ON
再生速度	再生速度を設定します（P.24）。	50%、60%、70%、80%、90%、 100% 、110%、120%、130%、140%、150%
リバーブタイプ	リバーブの種類を選びます（P.24）。	OFF 、HALL1、HALL2、ROOM、PLATE
リバーブの深さ	リバーブの深さを調節します（P.25）。	1 ～ 10
スピーカー	内蔵スピーカーから音を出力するか設定します。	OFF、 ON

カテゴリ：Bluetooth

メニュー	効果	値（初期値：太字）
接続情報	接続した Bluetooth ヘッドホンやスピーカーの情報を表示します。	-
音声機器登録	Bluetooth ヘッドホンやスピーカーを R-07 に登録します（P.10）。	-
音声機器接続	登録した Bluetooth ヘッドホンやスピーカーを R-07 と接続します（P.10）。	-
音声機器切断	接続した Bluetooth ヘッドホンやスピーカーを切断します。	-
リモコン	アプリ「R-07 Remote」を使って、R-07 を操作する準備をします（P.26）。	-

カテゴリ：画面

メニュー	効果	値（初期値：太字）
コントラスト	ディスプレイの文字の明るさを調節します。	1 ～ 5 ～ 10
バックライト	ディスプレイのバックライトの明るさを調節します。	OFF、1、 2
点灯時間	一定期間操作しないときに、ディスプレイのバックライトが暗くなるまでの時間を設定します。	常時点灯、2 秒、 5 秒 、10 秒、20 秒
インジケーター	点灯時間に連動して PEAK インジケーターや Bluetooth インジケーターも消灯させるかどうかを設定します。	通常モード 、省電力モード
画面回転	ディスプレイの上下を反転させるか設定します。	OFF 、ON

カテゴリ：言語

メニュー	効果	値（初期値：太字）
-	ディスプレイに表示する言語を選びます。	English、 日本語

R-07本体の各種設定

カテゴリー：電源

メニュー	効果	値（初期値：太字）
オートオフ	一定時間操作をしないときに、電源が切れるまでの時間を設定します。	OFF、3 分、5 分、10 分、15 分、 30 分 、45 分、60 分
電池の種類	使用する電池の種類を設定します。	アルカリ 、ニッケル水素

カテゴリー：ファイル編集

メニュー	効果	値（初期値：太字）
オリジナルを残す	ファイル編集後（分割、結合、トリム処理）に編集前のオリジナルファイルを残すかどうかを設定します。	OFF、 ON

カテゴリー：時計

日付と時刻を設定します（P.7）。

カテゴリー：SD カード

メニュー	効果	値（初期値：太字）
カード情報	microSD カードの情報を表示します。	—
フォーマット	microSD カードをフォーマットします（P.9）。	—

カテゴリー：メトロノーム

メトロノームのテンポと拍子を設定します（P.28）。

カテゴリー：チューナー

楽器をチューニングするときに使います（P.29）。

カテゴリー：グラフィック チューナー

ボーカル、金管楽器などの練習のときに、ピッチ変化を確認するのに使います（P.30）。

カテゴリー：設定の初期化

R-07 を初期化します。

Bluetooth 機器やモバイル機器との接続情報（P.10、P.26）も初期化されます。改めて接続し直してください。

カテゴリー：情報

R-07 の無線認証情報が表示されます。

エラー・メッセージ一覧

ディスプレイに表示される主なエラー・メッセージについて説明します。

メッセージ	症状
 日付／時間を設定してください	内蔵時計用の電力がなくなってしまったため、内蔵時計を初期化しました。日付と時刻を設定してください。
 バッテリーが低下しています	内蔵電池の残り容量が不足してきました。電池を交換する必要があります。または USB 端子から電源供給してください。
 取扱いできないファイルです	R-07 では取り扱うことができないファイル形式のファイルです。
 すでに存在するファイルです	同じ名前のファイルもしくはフォルダがあります。別の名前でファイルやフォルダを作成してください。
 ファイルが保護されています	ファイルが保護されています。ファイル保護を「OFF」にしてから操作してください。
 ファイル名が長すぎます	名前が長すぎます。
 ファイルシステムエラー	microSD カードの状態に問題があります。R-07 で microSD カードをフォーマットしてください。
 フォーマットされていません	microSD カードがフォーマットされていません。R-07 で microSD カードをフォーマットしてください。
 カードの容量が足りません	microSD カードの空き容量が不足しています。ファイルをパソコンにコピーして、microSD カードの容量を確保してください。
 ファイル名が変更できません	ファイル名に 2 バイト文字が使われている場合、ファイル名は変更できません。
 ファイルサイズが大きすぎます	ファイルのデータ容量が大きすぎます。
 書き込みが間に合いません	microSD カードへの書き込みが間に合いませんでした。R-07 で動作確認された microSD カードをお使いください。また、ファイルの書き込みや削除を繰り返すことによって、microSD カード内のファイルの並びが不規則になり処理能力が落ちたりすることがあります。この場合は、microSD カードをフォーマットし直しお使いください。
 SD カードエラー	microSD カードのアクセスで異常が発生しました。microSD カードが壊れている可能性があります。
 SD カードを入れてください	microSD カードがセットされていません。microSD カードを R-07 にセットしてください。
 取扱できないカードです	R-07 では取り扱うことのできない microSD カードです。
 ホールド中です	[POWER] スイッチの HOLD がオンになっているため、操作できません。操作する場合は、HOLD をオフにしてください。
 録音中です	録音中です。操作したい場合は、録音を中止してください。
 再生中です	再生中です。操作したい場合は、再生を中止してください。
 AGC が ON です	リミッターが「AGC」になっているため、手動で入力レベルを変更できなかったり、リハーサル機能を使用できなかったりします。操作するにはリミッターを「AGC」以外にしてください。

困ったときには

トラブルを解決するためのヒントが書かれています。

また、ホームページでは最新情報が公開されています。合わせてご覧ください。

(<https://www.roland.com/jp/support/>)

それでも解決しない場合には、「はじめにお読みください」チラシに記載の『お問い合わせの窓口』へお問い合わせください。

録音に関するトラブル

症状	原因	ページ
録音したマイクの音が L チャンネル（左）側からしか聞こえない	お使いになったマイクがモノラル対応の場合は、L チャンネル（左）側のみに録音されます。外部マイクを使用する場合には、マイクがステレオかモノラルかを確認してください。モノラル対応のマイクで両側のチャンネルに録音するには、「メニュー」画面で外部マイクタイプを「モノラル」に設定してください。	P.19
録音が始まりません	microSD カードの残容量が 16kB 以下になっていると録音できません。録音待機状態にもなりません。	P.40
録音を開始した時点と違う部分から録音されている	プリレコーディングが「ON」になっていると、[●] ボタンを押す 2 秒前にさかのぼって録音が始まります。	P.18
マイクが使えない	MIC/AUX IN 端子にマイク、ケーブル、機器などが接続されていると、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用する場合には、MIC/AUX IN 端子には何も接続しないでください。	P.19
	プラグイン・パワー・マイクを使う場合、プラグインパワーを「ON」にする必要があります。	P.20
	R-07 はファンタム電源のマイクに対応していません。	-
録音した音が歪む	入力レベルが大きすぎると音が歪んでしまいます。適切な入力レベルになるように設定してください。	P.17
録音したファイルが再生できない	録音中に USB ケーブルが抜けて電源が切れたり、microSD カードを抜いたりしてしまうと、ファイルが壊れ再生ができなくなります。ファイルのリペア機能を使って修復することができる場合があります。	P.37
録音ができない	microSD カードが正しくセットされていないと録音できません。電源をいったん切って、microSD カードをセットし直してください。	P.8
	microSD カードがフォーマットされていないと、microSD カードが認識されず、ディスプレイに「フォーマットされていません」と表示されます。microSD カードをフォーマットしてください。	P.9
	microSD カードは R-07 本体でフォーマットしないと正しく動作しません。パソコンでフォーマットすると、フォーマットの種類が違ふことがあります。その場合、録音を開始した直後に停止したり正しく録音ができなかったりする場合があります。	P.9
	INPUT [+][-] で設定した入力レベルが小さすぎると正しく録音できません。入力レベルを正しく設定してください。	P.17
モノラル・マイクで録音したのにステレオのファイルができてしまう	R-07 はステレオで録音します。モノラル・マイクを接続した場合、外部マイクタイプを「モノラル」に設定しても、左右（L、R）のトラックに同じ音を録音してステレオのファイルを作成します。	P.19
MIC/AUX IN 端子に接続した機器の音量が小さい	抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか？抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。	P.20
ファイルが勝手に分割されてしまう	R-07 は録音中のファイルのサイズが一定以上になったとき、または入力レベルが特定の値以下になったときに自動的にファイルを分割します。ファイル分割タイプで自動分割するファイルのサイズ、または入力レベルを設定してください。	P.21

再生に関するトラブル

症状	原因	ページ
音が出ない	出力の音量が小さすぎると音が聞こえないことがあります。少しずつ VOL [+] を押してください。	P.22
	ヘッドホンやスピーカーなどが正しく接続されているか確認してください。	P.10
再生できない	ファイル名の付けかたが正しいか確認してください。「.」（ピリオド）で始まっているファイルは R-07 では扱うことができません。	P.22
	R-07 では、ファイルの拡張子が .MP3、.WAV のファイルのみ再生することができます。	P.25
	ファイルが破損していると再生できません。ファイル修復機能で修復できる可能性があります。	P.37

症状	原因	ページ
意図しないファイルが再生される	ファイルの再生モードが「シャッフル」になっている可能性があります。このとき、R-07 は次に再生するファイルをランダムに選んで再生します。「順番再生」に設定し直してください。	P.22

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	原因	ページ
Bluetooth ヘッドホンやスピーカーと接続できない	Bluetooth 機器が接続可能になっているか確認してください。	
	本機と距離が離れていると、接続できないことがあります。Bluetooth 機器を本機周辺に置いて操作してください。	
	ペアリング情報が消えてないか、本機の「音声接続機器」を確認してください。消えていたら、もう一度ペアリング操作をしてください。	
Bluetooth ヘッドホンやスピーカーから音が出ない	本機のボリュームが「0」になっていると音が出ません。本機のボリュームを大きくしてください。	
	Bluetooth ヘッドホンやスピーカーの音量が下がっていると聞こえません。Bluetooth ヘッドホンやスピーカーの音量を大きくしてください。	
Bluetooth ヘッドホンやスピーカーから雑音が聞こえる	本機と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器が近くにあると雑音が聞こえることがあります。同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器から本機を離してお使いください。	
	本機と Bluetooth 機器の間に壁や人などの障害物があると雑音が聞こえることがあります。障害物のない見通しのよい場所でお使いください。接続する Bluetooth 機器によっては、通信可能距離が短くなる場合があります。本機になるべく近い場所でお使いください。	
本機の Bluetooth のインジケータが点滅したままになる	状況によっては、本機と接続した Bluetooth 機器が切断されることがあります。Bluetooth 機器の電源を入れて再接続してください。再接続しないなら、本機の「音声機器切断」で接続を切って、再接続してください。	
アプリから本体に接続できない	モバイル機器に登録されている「Roland R-07 MIDI」を削除してから、登録し直して接続してください。	

その他のトラブル

症状	原因	ページ
電源が入らない	USB AC アダプターや USB ケーブルが抜けて電源が切れてないか確認してください。電池を使用している場合は、電池の向きが正しいか、浮きがないかなどを確認してください。また、電池の残容量がない場合がありますので、新しい電池を用意してください。	P.6
	USB AC アダプターや USB ケーブル、または電池の状態に問題がないのに R-07 の電源が入らない場合は、故障している可能性があります。保証書の封筒に記載されている『修理の窓口』へお問い合わせください。	-
パソコンと接続しても認識されない	R-07 に microSD カードがセットされていないとパソコンに正しく認識されません。パソコンのデスクトップ上にアイコンなどが表示されていないときなどは、microSD カードのセット状態を確認してください。	P.8
【MENU】を押しても「メニュー」画面にならない	再生中、録音中、録音待機の状態のときは、【MENU】を押しても「メニュー」画面になりません。再生または録音を終了し、その後【MENU】を押してください。	-
ディスプレイが暗くなる	電池で使用している場合、点灯時間の設定によっては操作をしていないときにディスプレイが暗くなります。	P.39
勝手に電源が切れてしまう	オートオフの設定によっては、一定時間操作をしていないと自動的に電源が切れます。	P.40
	電池使用時は、電池の残容量が少なくなると電源が切れます。新しい電池に入れ替えてください。	P.6
設定した内容が元に戻ってしまった	設定の初期化を実行すると、「メニュー」画面などで設定した内容がすべて元に戻ります。再度設定してください。	P.38
	設定後、電池が切れたり USB AC アダプターや USB ケーブルが抜けたりするなどして、【POWER】スイッチを使わずに電源が切れてしまった場合、変更した設定は元に戻ります。再度設定してください。	P.38

症状	原因	ページ
USB ケーブルを使ってパソコンに接続したが認識されない	「メニュー」画面のときや再生、録音中にはパソコンと接続しても認識されません。いったん R-07 とパソコンを接続している USB ケーブルをはずし、やり直してください。	P.31
ファイルを選んでいるときにファイル名の表示が遅い	壊れたファイル、不正なファイルや対応していない形式の MP3、容量が大きいファイルについては、拡張子が .MP3 や .WAV であっても、R-07 で演奏が可能かどうかを判断するのに時間がかかるため、ファイルを選んだときの表示が遅くなります。	P.25
ヘッドホンでモニターしているのにハウリングが起こる	オープンエア・タイプのヘッドホンを使用して録音状況をモニターしているときに、R-07 に近づくるとヘッドホンから漏れる音を拾ってハウリングを起こすことがあります。R-07 の内蔵マイクは繊細な音も集音してしまいますので、内蔵マイクにあまり近づきすぎないようにしてください。	P.19
内蔵時計がリセットされる	USB AC アダプターと USB ケーブルが接続されていたり、電池がセットされたりしている場合、内蔵時計はそこから電力を供給されて動作します。電池が抜かれている状態が数分続くと、内蔵時計の設定は元に戻ります（初期状態）。この初期状態で電源を入れると「日付／時間を設定してください」のメッセージが表示されます。「日付／時間を設定してください」が表示されたら、再度、日付と時刻を設定してください。	P.7
ファイルの分割／結合ができない	microSD カードに該当ファイルの 2 倍の空き容量が必要です。また、サイズが 2GB を超えるファイルの結合はできません。	P.40

主な仕様

High Resolution Audio Recorder : R-07

レコーダー部

トラック数

- 2 (ステレオ)
- 4 (ステレオ×2) ※ WAVE×2 録音時

信号処理

AD/DA 変換 : 24bit、44.1/48/88.2/96kHz

データ・タイプ

<録音時> ※ステレオのみ

WAVE

サンプリング周波数	44.1/48/88.2/96kHz
ビット数	16/24 ビット

MP3 (MPEG-1 audio layer 3)

サンプリング周波数	44.1/48kHz
ビット・レート	64/96/128/160/192/224/320kbps

WAV+MP3

サンプリング周波数	44.1/48kHz
ビット数	16 ビット固定
ビット・レート	128kbps 固定

WAVE×2

サンプリング周波数	44.1/48kHz
ビット数	16/24 ビット

<再生時>

WAVE

サンプリング周波数	32/44.1/48/88.2/96kHz
ビット数	16/24 ビット

MP3 (MPEG-1 audio layer 3)

サンプリング周波数	32/44.1/48kHz
ビット・レート	32 ~ 320kbps、または VBR (Variable Bit Rate)

記録メディア

- microSD カード
- SDHC 規格対応

録音可能時間 (目安)

単位 : 分

録音モード		microSD カードのサイズ				
		2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
WAV	WAV (24bit / 96kHz)	55	110	220	450	900
	WAV (24bit / 88.2kHz)	60	120	240	490	980
	WAV (24bit / 48kHz)	110	220	440	900	1800
	WAV (24bit / 44.1kHz)	120	240	480	980	1950
	WAV (16bit / 96kHz)	80	160	320	670	1350
	WAV (16bit / 88.2kHz)	88	176	352	735	1470
	WAV (16bit / 48kHz)	166	332	664	1350	2700
	WAV (16bit / 44.1kHz)	180	360	720	1470	2950
MP3	MP3 (320kbps)	797	1540	3080	6450	12950
	MP3 (128kbps)	1993	3990	7980	16180	32350
WAV+MP3	WAV (16bit / 48kHz) +MP3 (128kbps / 48kHz)	152	305	610	1240	2490
	WAV (16bit / 44.1kHz) +MP3 (128kbps / 44.1kHz)	165	330	660	1345	2690
WAVE×2 (2×WAV)	WAV (24bit / 48kHz)	55	110	220	450	900
	WAV (24bit / 44.1kHz)	60	120	240	490	975
	WAV (16bit / 48kHz)	83	166	332	675	1350
	WAV (16bit / 44.1kHz)	90	180	360	735	1475

※ 録音時間は目安です。カードの仕様などにより変わることがあります。

※ 録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。

入出力

オーディオ入力

- 内蔵マイク（ステレオ）
- MIC/AUX IN 端子（ステレオ・ミニ・タイプ、プラグイン・パワー対応）
- ※ 内蔵マイク、MIC/AUX IN 端子の同時使用不可（MIC/AUX IN 端子優先）

オーディオ出力

- PHONES 端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
- 再生用内蔵スピーカー（モノラル）
- ※ PHONES 端子、内蔵スピーカーの同時使用不可（PHONES 端子優先）

規定入力レベル（可変）

- MIC/AUX IN 端子：-31dBu（デフォルトのインプット・レベル）
- ※ 0dBu=0.775Vrms

入力インピーダンス

- MIC/AUX IN 端子：約 4.5k Ω

出力レベル

- 3mW + 3mW（16 Ω 負荷時）

推奨負荷インピーダンス

- 16 Ω 以上

周波数特性

- 20Hz ~ 40kHz（ ± 3 dB）

USB インターフェース

- USB マイクロ B タイプ
- USB 2.0/1.1 マス・ストレージ・デバイス・クラス対応

Bluetooth

- R-07 Remote：Bluetooth 標準規格 Ver 4.0
- オーディオ送信：Bluetooth 標準規格 Ver 3.0
- 出力：Bluetooth 標準規格 Power Class2（見通し距離：約 10m）
- 対応プロファイル：A2DP, AVRCP
- 対応 CODEC：SBC, Qualcomm aptX Qualcomm aptX low latency

エフェクト

- ※ 再生時のみ。88.2kHz、96kHz 再生時は除く
- ※ リバーブと変速再生は同時に使用できません

リバーブ

- 4 種類（HALL1、HALL2、ROOM、PLATE）

変速再生

- 50 ~ 150% の速度

その他

ディスプレイ

- グラフィック LCD 128 × 64 ドット（白色バックライト）

電源

- アルカリ電池（単 3 形）× 2 または充電式ニッケル水素電池（単 3 形）× 2
- USB 端子より取得

消費電流

- 350mA（最大）

アルカリ電池使用時の連続使用可能時間

- 連続再生：約 15 時間
- 連続録音：約 15 時間
- ※ 電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。

外形寸法

- 61（幅）× 103（奥行き）× 26（高さ）mm

質量

- 150g（乾電池を含む）

付属品

- 「はじめにお読みください」チラシ
- 取扱説明書
- ローランドユーザー登録カード
- microSD カード（本体に挿入済み）
- 電池
- 保証書

別売品

- マイク・スタンド・アダプター：OP-MSA1
- バイノーラル・マイクロホン・イヤホン：CS-10EM
- ステレオ・マイクロホン：CS-15RS
- ※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。